内閣府

2023年
関東大震災100年

ぼうさいこくたい2023

KANAGAWA

次の100年への備え ～過去に学び、次世代へつなぐ～

2023 9/17(日)・18(月祝)

10:00～18:00　10:00～15:30

会場 YNU 横浜国立大学 YOKOHAMA National University

入場・参加 無料 一部オンラインでも配信予定

同時開催 防災KOKUDAI

主催：防災推進国民大会実行委員会（内閣府、防災推進協議会、防災推進国民会議）
協力：神奈川県、横浜市、横浜国立大学

詳しくはWEBサイトで！
ぼうさいこくたい 検索

2023年
関東大震災100年

次の100年への備え

～過去に学び、次世代へつなぐ～

今年は、大正12年（1923年）に発生した関東大震災から100年の節目に当たります。関東大震災は、その発生日である９月１日が「防災の日」と定められているように、近代日本における災害対策の出発点となった未曾有の災害です。

大火災による東京での被害が大きかった一方で、震源域の相模湾に近い神奈川県を中心に、強震、津波、土砂崩れ、火災、液状化などによる被害が各地に及んだ複雑な災害でもありました。また、災害救護に当たっては、現代でいうボランティアとも言うべき住民同士の助け合いや、海外を含む遠隔地からの支援が大きな役割を果たしたことは、あまり知られていません。

このように、関東大震災は、首都直下地震、南海トラフ地震、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震などの巨大地震や、毎年のように全国各地を襲う豪雨災害など、様々な災害のリスクに直面する現代の我々にも、大変参考となる示唆や教訓を与えてくれます。

このため、８回目を迎える2023年のぼうさいこくたいは、「次の100年への備え～過去に学び、次世代へつなぐ～」をテーマに、関東大震災の震源地である神奈川県で開催します。大会では、多くの方に大震災のことを振り返っていただくとともに、災害への「備え」と「助け合い」の大切さを次世代につないでいくきっかけを提供したいと考えています。

今年のぼうさいこくたいが、私たちの記憶に残る大会となり、次の100年に向けて、一人ひとりの防災意識の向上、ひいては我が国全体の防災力の向上につながることを願っています。

防災推進国民大会（ぼうさいこくたい）の始まり

平成27年３月に、仙台にて開催された第３回国連防災世界会議において、『仙台防災枠組2015-2030』が採択され、行政だけでなく、市民社会、ボランティア、地域団体、学術界、企業、メディアなど各ステークホルダーが災害リスク削減に関する役割を果たすことが掲げられました。こうした防災に関する動きを、国民運動の推進に反映させるため、これまで民間分野で防災分野をリードしてきた防災推進協議会だけでなく、防災推進国民会議を構成する各界各層の団体・機関に加えボランティアなど多様な主体、さらには一般の方々が一堂に会する場として『防災推進国民大会』を開催する運びとなり、平成28年、第1回防災推進国民大会が東京都(東京大学)で開催されました。

ぼうさいこくたい2023 現地情報共有・連携会議

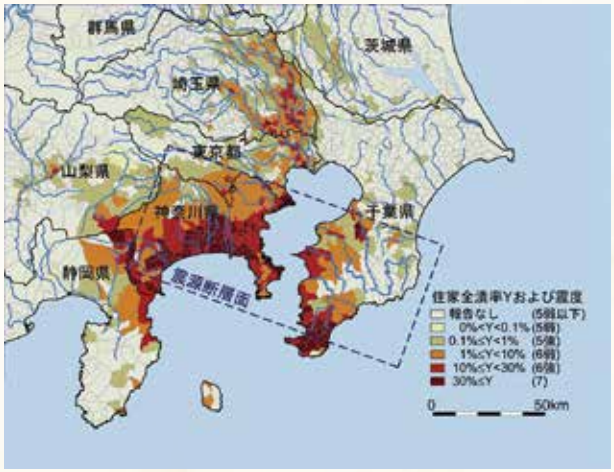
防災の取組では身近な地域のつながりが大切です。しかし、国主催の防災推進国民大会は一般の方には少しハードルが高く、防災を「自分ごと」と捉えていただくためには、まずは地域の皆様と連携し、ともに取り組み、大会を盛り上げていくことが必要だと考えました。

そこで、開催地である神奈川県では、防災活動に取り組む企業や団体の皆様が、ぼうさいこくたいへの出展に向けて、大会の基本情報を共有するため、また、参加者の皆様同士でコミュニケーションを図り、共同出展につなげるために「ぼうさいこくたい2023現地情報共有･連携会議」を４回開催しました。

情報共有会議の中から新たなつながりや共同企画が生まれるとともに、出展者からスタンプラリーの実施や出展団体紹介モニター設置など大会を盛り上げるための提案が出されました。

関東大震災とは?

～過去に学び、次世代へつなぐ～



関東大震災の震度分布及び住家全潰率

出典：諸井・武村（2002）『日本地震工学会論文集』第２巻第３号 35-7
（中央防災会議（2006）『関東大震災報告書 第１編』で引用）

今年は、大正12年（1923年）に発生した、関東大震災から100年の節目に当たります。関東大震災は、発生日である9月1日が「防災の日」と定められているように、近代日本における災害対策の出発点となった未曾有の災害です。

関東大震災は、9月1日11時58分に発生した、大正関東地震(マグニチュード7.9と推定)によってもたらされました。この地震により、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県で震度6を観測したほか、北海道道南から中国・四国地方にかけての広い範囲で震度5から震度1を観測しました。

大正関東地震は相模トラフを震源とする海溝型地震であり、震源の直上に箱根や丹沢などの中山間地があるのに加えて、人口が集中する首都圏にも近く、家屋の倒潰、山間部における崖崩れなどの土砂災害、沿岸部での津波被害といった、多岐に渡る被害をもたらしました。また、発生時刻（11時58分）が昼食の時間と重なったことから、多くの火災が発生し、大規模な延焼火災に拡大しました。関東大震災により全半潰・消失・流出・埋没の被害を受けた住家は総計約37万棟にのぼり、死者･行方不明者は約10万5000人に及びました。

神奈川県中郡大山町（現伊勢原市内）で９月15日に発生した土石流災害（伊勢原市議会事務局蔵）

現銀座四丁目交差点付近の焼跡
（東京市『東京震災録』）

横浜市の山下公園（震災時の瓦礫を埋め立てて造られた）横浜市『港町横浜の都市形成史』昭和56年より転載：横浜開港資料館蔵（一部加工）

災害救護に当たっては、現代で言うボランティアとも言うべき住民同士の助け合いや、海外を含む遠隔地からの支援が大きな役割を果たしたことが知られています。

また、東京や横浜を中心に、首都圏が壊滅的な被害を受け、その被災範囲も焼失面積が約4,500haに及びましたが、その後の帝都復興計画に基づく復興事業により、約3,300haに及ぶ土地区画整理事業が実施され、街路や公園が整備された近代的な街並みが造られるなど、現代の東京や横浜の中心部が形作られました。

「関東大震災100年」特設ページ　内閣府

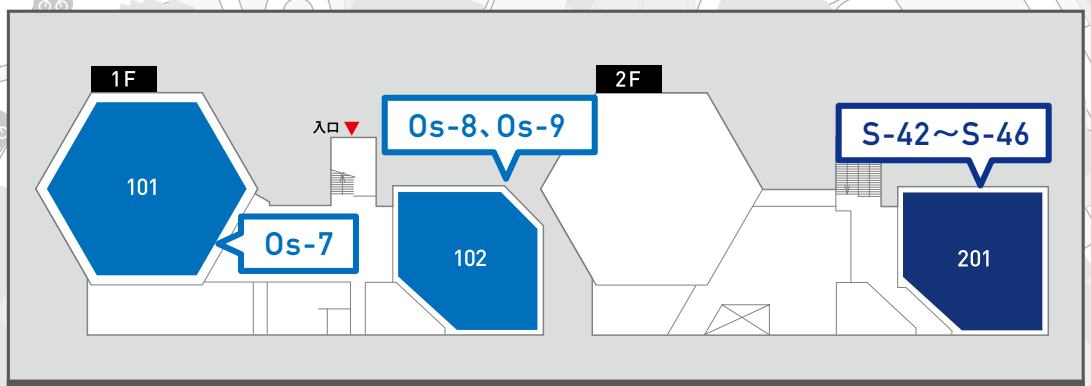
URL：https://www.bousai.go.jp/kantou100/index.html

関東大震災の関連資料や、様々な団体が実施する関東大震災100年関係の行事等についての情報を掲載しています。
関東大震災は、さまざまな災害のリスクに直面する現代の我々にも、大変参考になる示唆や教訓を与えてくれます。

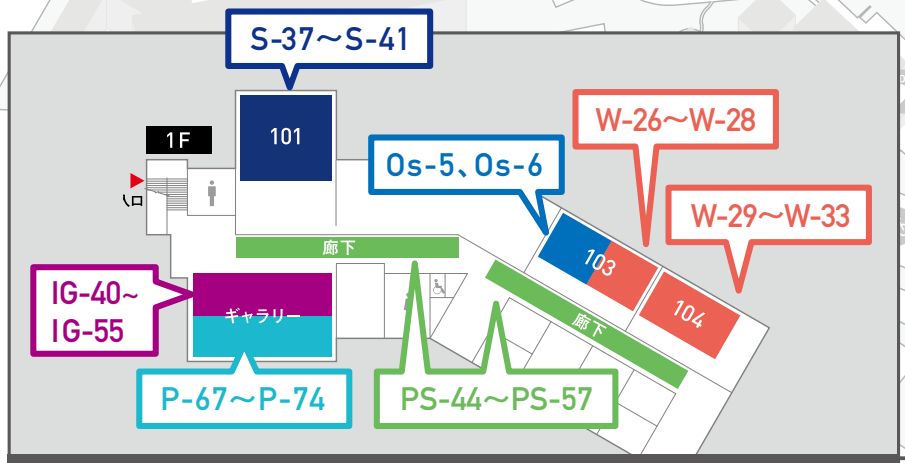
会場マップ

- インフォメーション
- 学食 11:00〜14:30
  カフェ10:30〜15:00
- 売店（コンビニ）
  17 (日)10:00〜17:00
  18 (月)10:00〜15:00
- AED設置場所
- 大学会館前バス停
- 各会場入口

バリアフリーMAPはこちら

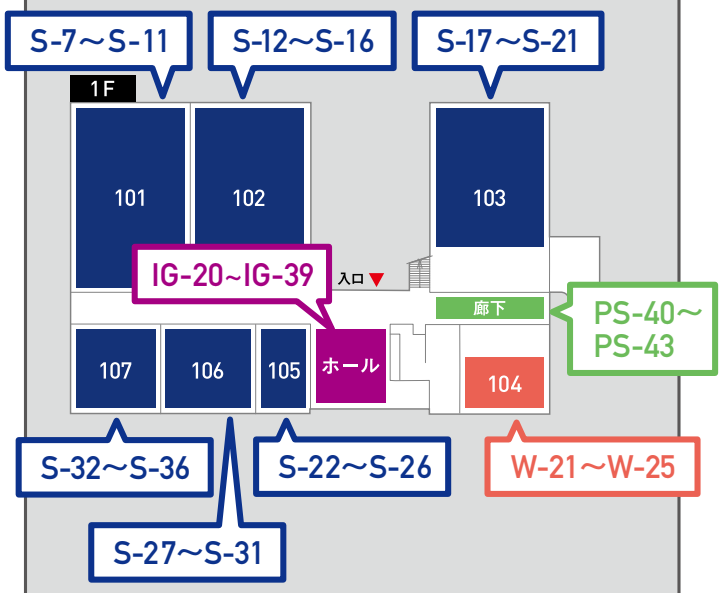


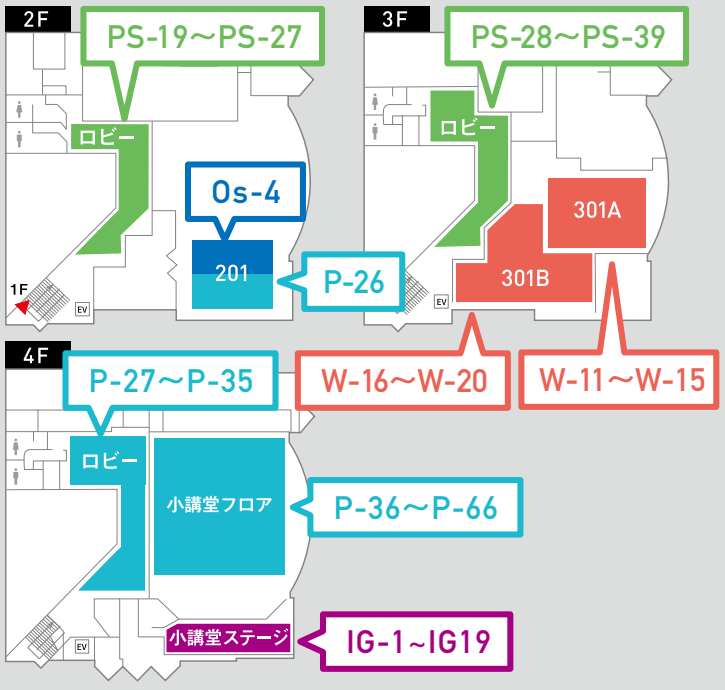
S3-1 教育学部 6号館



S2-2 教育学部 7号館

S2-1 都市科学部





S1-5 大学会館

S セッション P12
Os オリジナルセッション P18
W ワークショップ P20
P プレゼンテーション P22
O 屋外展示 P26
IG イグナイトステージ P27
PS ポスターセッション P29

タイムスケジュール　セッション

2023 9/17 日

ライブ配信

棟	会場	11:00 ～ 12:15	12:30 ～ 14:00	14:30 ～ 16:00	16:30 ～ 18:00
S1-2 教育文化ホール	101	S-1 オープニングセッション 内閣府防災担当	S-2 ハイレベルセッション「次の 100 年に向けて、来るべき巨大地震にどう備えるか」 内閣府防災担当	S-3 誰一人取り残さない防災を目指して 神奈川県	S-4 台風防災の過去・今・未来 横浜国立大学 台風科学技術研究センター【TRC】
S2-1 都市科学部	101		S-7 地域防災力を向上させるために必要な取組みを産学官民の視点で考える～デジタルファースト宣言を行った静岡県浜松市で考える～ 株式会社JX通信社	S-8 災害教訓と地域・福祉の防災 特定非営利活動法人 日本防災士会	S-9 事業継続(BC)普及セミナー「関東大震災から 100 年、これからの事業継続を考える」 特定非営利活動法人 事業継続推進機構
	102		S-12 被災地支援経験を活かした多セクター（自治体・NPO・民間企業）の連携による被災者支援の機能強化と社会実装への取組みについて 特定非営利活動法人 ジャパン・プラットフォーム(JPF)	S-13 防災分野へのドローン利用の最前線「防災・インフラ分野のドローン計測データ利活用の未来 ～キーとなる技術は？～」 一般社団法人 日本ドローンコンソーシアム	S-14 災害時の福祉支援に関する団体同士の連携 特定非営利活動法人 ピースウィンズ・ジャパン
	103		S-17 あなたのまちを支えたい！災害時支援人材シェアリングネットワーク WAA ReSCue	S-18 未来の防災教育を考える 防災教育学会	S-19 防災情報のデジタル化（防災 DX）はどう進んでいくのか 人と防災未来センター（公益財団法人 ひょうご震災記念21世紀研究機構）
	105		S-22 福祉避難所としての特別支援学校の可能性と課題 ～みんなで一緒に助かるために～ 特別支援学校の災害対策を考える facebook グループ	S-23 災害に備え、災害を乗り越える ～新しい防災への取組み～ 一般社団法人 災害防止研究所	S-24 やさしい日本語から防災ピクトグラムまで～安全確保行動を促すために効果的な手法は？～ 特定非営利活動法人 防災デザイン研究会
	106		S-27 一緒に作ろう「地区住民による津波防災対策計画立案のための手引き」 国際津波防災学会	S-28 「学校での食の在り方」から「災害時の食と栄養問題」の解決策を探る～「いつも」の生活で「もしも」に強くなる！～ 食べる支援プロジェクト（たべぷろ）	S-29 被災者支援制度を各セクターから考える～有効な被災者支援の為に 3.11 から未来の災害復興制度を提案する会
	107		S-32 災害中間支援組織って何？ ーその模索と萌芽ー 一般社団法人 地域安全学会 実務者企画委員会	S-33 マンションで在宅避難に備えよう 一般社団法人 マンション防災協会（MALCA）	S-34 地区防災計画フォーラム「関東大震災 100 年の教訓を踏まえた地区防災計画づくり」 内閣府（防災担当）
S2-2 教育学部 7 号館	101		S-37 100 年後の共感へ：あなたが憧れる伝承のかたち 災害伝承セッション連絡協議会	S-38 どんなリスクも乗り越え もっと豊かになる 100年を目指す レジリエントライフという生活様式 レジリエントライフプロジェクト	S-39 関東大震災 100 年を迎え未来の防災を官民連携で取り組む 公益社団法人 日本青年会議所 国家グループ 強くしなやかな国土創造委員会
S3-1 教育学部 6 号館	201		S-42 富士山と酒匂川 足柄の歴史再発見クラブ	S-43 過去から学ぶ、これから求められる密集市街地整備と全国の自然災害への備え 独立行政法人 都市再生機構	S-44 関東大震災から学び新たな災害対応ツール First Mission Box の有効性を考える」 一般社団法人 危機管理教育研究所
オンライン配信			So-1 災害と先端技術 新災害共助スタイル - そこに AI はありますか - 一般社団法人 DroneAI 技術研究機構	So-2 地域の防災力向上に向けた衛星データの活用事例と地球観測の最新動向の紹介 一般社団法人 日本リモートセンシング学会	So-3 防災科学からみた関東大震災の回顧と展望 （一社）防災学術連携体＋日本学術会議
			So-6 関東大震災発災から 100 年 ～未来に活かされるべき教訓～ 公益社団法人 日本医師会		

横浜市消防音楽隊がオープニング演奏します

横浜市消防音楽隊は 1958 年、横浜開港 100 周年・市制 70 周年を記念し創設されました。現在は、活動の拠点を「横浜市民防災センター」に置き、『安全・安心を実感できる都市“ヨコハマ”の実現』のため、市内各所で演奏・演技を通じ広報活動を行っています。

すべてのセッションは、後日ホームページにてアーカイブ配信します

2023 9/17 日

ライブ配信

棟	会場	12:30 ～ 14:00	14:30 ～ 16:00	16:30 ～ 18:00
S1-2 教育文化ホール	B101	W-1 関東大震災から 100 年 ～住宅と防災～ 一般社団法人 防災住宅研究所	W-2 げんさいカフェ in ぼうさいこくたい 2023 KANAGAWA 「若者に防災減災を届ける方法を考える」 名古屋大学 減災連携研究センター	W-3 取材映像で知る「大地震が起きたら私たちはどうなる？」 首都直下地震に備える教育現場での実践法 朝日放送グループホールディングス
	B102	W-6 なでしこ SAT チームから恐竜くんと一緒に学ぶ災害時の救出救護ワークショップ 一般財団法人 危機管理教育 & 演習センター	W-7 わがまちうわじまの防災協働社会へのつながりづくり 特定非営利活動法人 U.grandma Japan	W-8 災害史料を「みんなで注釈」してみよう 京都大学古地震研究会
S1-5 大学会館	301A	W-11 あれから13年スペシャル～これまでの 100 年からこれからの 100 年へ、つなげるみんなの震災体験～ Team Sendai & Sonae ― bu	W-12 クロスロード誕生 20 年　あなたの選択は？ クロスロードで防災を考えよう！ 全国クロスロードネットワーク会議	W-13 地域に根ざしたハザードマップの作成と防災に役立つ地図の見方 特定非営利活動法人 地図で防災・まちづくりサポート
	301B	W-16 足紋（そくもん）は、個人識別に有効です。「足紋採取会」と「講演会」に参加しましょう！ 特定非営利活動法人 全国足紋普及協会	W-17 みんなで取り組みたくなるような「災害時個別支援」のスキームを考えよう 特定非営利活動法人 ふくおか NPO センター	W-18 夜間に大地震！福祉施設のバーチャルシミュレーション災害想定ゲーム『KIZUKI』高齢者介護施設夜勤汎用バージョンの体験 NPO 法人 高齢者住まいる研究会
S2-1 都市科学部	104	W-21 ソーラークッカーを作ろう 日本ソーラークッキング協会（JSCA）	W-22 これだけは知っておきたい　災害時の子どもの支援「28の基準」（人道行動における子ども権利の保護の最低基準） 災害時に子どもを守る最低基準（CPMS）推進ネットワーク	W-23 災害看護でまちづくり （一社）EpiNurse
S2-2 教育学部 7 号館	103	W-26 協力型ボードゲーム「LIFE」を通して、災害への備えと今出来ることを考えよう！ フダコマ広場	W-27 インクルーシブ社会のコミュニケーション防災 ライフデザインラボ	W-28 今日から活かせる！防災ナッジ実践ワークショップ よんなな防災会ナッジユニット
	104	W-29 身近なもので楽しく防災ワークショップ（工作） ボーイスカウト	W-30 which? どっち？防災生活ゲーム 横浜市立大学 都市防災計画研究室	W-31 外国人支援のための防災ワークショップ 公益財団法人 かながわ国際交流財団
N4-2 経済学部 1 号館	101	W-34 親子で学ぼう！防災・気象情報のミカタ 株式会社 南気象予報士事務所	W-35 オリジナル防災ゲーム体験会 若者防災協議会	W-36 未来を託す。関東大震災から 100 年。今、こどもたちと一緒に学ぶ防災のこと。 アールシーソリューション 株式会社
	102	W-39 防災カードゲーム「ここは災対本部」 自治体防災啓発グループ	W-40 楽しく学ぶ　いつもちも・まねっこ・ぼうさい　―クロスロード体験会― わしん倶楽部	W-41 「ひなんくんれんゲーム」ワークショップ NPO 防災教育研究センター赤鼻塾
	100B	W-44 命のかたりべ×疑似喪失体験プログラム 命のかたりべ（髙橋匡美）×疑似喪失体験プログラム（関西学院大学金菱清）	W-45 避難用具の現状と課題と福祉用具として避難用具の必要性 一般社団法人 全国福祉用具人材育成協会 福祉避難用具普及部会	W-46 東日本大震災被災地仮設住宅等約 100 カ所以上で好評を得た『あでやか切り絵』のワークショップ 一般社団法人 あでやか切り絵協会

2023 9/17 日

棟	会場	12:30 ～ 12:45	12:55 ～ 13:10	13:20 ～ 13:35	13:45 ～ 14:00	14:30 ～ 14:45	14:55 ～ 15:10	15:20 ～ 15:35	15:45 ～ 16:00	16:30 ～ 16:45	16:55 ～ 17:10	17:20 ～ 17:35	17:45 ～ 18:00
S1-5 大学会館	4F 小講堂	IG-1	IG-2	IG-3	IG-4	IG-5	IG-6	IG-7	IG-8	IG-9	IG-10	IG-11	IG-12
S2-1 都市科学部	1F ホール	IG-20	IG-21	IG-22		IG-24	IG-25	IG-26	IG-27	IG-28	IG-29	IG-30	IG-31
S2-2 教育学部 7 号館	ギャラリー	IG-40	IG-41	IG-42	IG-43	IG-44	IG-45	IG-46	IG-47	IG-48	IG-49		
S3-6 中央図書館	ロビー		IG-57	IG-58	IG-59	IG-60	IG-61	IG-62	IG-63	IG-64	IG-65	IG-66	IG-67

S セッション P12
Os オリジナルセッション P18
W ワークショップ P20
P プレゼンテーション P22
O 屋外展示 P26
IG イグナイトステージ P27
PS ポスターセッション P29

2023 9/18 月 祝

ライブ配信

棟	会場	10:30～12:00	12:30～14:00	14:30～15:30
S1-2 教育文化ホール	101	S-5 知ってほしい！活かしてほしい！政府の地震調査研究～これからどうする!? 地震調査研究推進本部 / 文部科学省	S-6 横浜の関東大震災体験、そして今後の災害対応 公益財団法人 日本消防協会	S-48 クロージングセッション 内閣府防災担当
S2-1 都市科学部	101	S-10 「災害への備え」はじめませんか？内閣府と賛同企業による「災害への備え」に向けたパネルディスカッションを開催！ 内閣府（防災担当）「災害への備え」コラボレーション事業　事務局	S-11 関東大震災から 100 年 私たちの都市は巨大災害に強くなったのか 一般社団法人 日本損害保険協会	
	102	S-15 災害時、行政と民間の支援、どうやって調整するの？ 特定非営利活動法人 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD）	S-16 BOSAI Treasure & Future ～防災の宝物と未来を考える～ 神戸市	
	103		S-21 最新の防災施策に関する市民社会からの提案 防災・減災日本 CSO ネットワーク（JCC-DRR）	
	105	S-25 防災は地域間共創、今ここから生まれる！ 全国女性社長の共創防災会議	S-26 「防災×女性リーダー」で地域の防災力をアップデートする 女性のエンパワメントで高める地域の防災力リーダー育成事業実行団体ネットワーク	
	106	S-30 本当はとても身近な「仙台防災枠組」！ ー折り返しの年に考える、今まで と これからー 東北大学災害科学国際研究所	S-31 災害時の『思い出の品』フォーラム 一般社団法人 三陸アーカイブ減災センター、全国写真洗浄ボランティア有志	
	107	S-35 防災教育交流会 学校・地域連携を高める防災教育 ～コミュニティスクールを基盤とした展開 防災教育チャレンジプラン実行委員会	S-36 災害時におけるマンションのトイレ対策 特定非営利活動法人 日本トイレ研究所	
S2-2 教育学部 7 号館	101	S-40 関東大震災 100 周年 ～大正の食から読み解く歴史的大転換～ 一般社団法人 日本災害食学会	S-41 災害対策法制の過去・現在・未来の姿を語る ～関東大震災百年、人間の復興を実現するために 災害復興法理論研究会	
S3-1 教育学部 6 号館	201	S-45 次の関東地震、南海地震に備える抗震力 NPO 法人 都市防災研究会	S-46 これだけはやっておきたい ～マンション管理組合に必要な「大規模震災への対応と進め方」～ マンション地震対応支援協会	
S3-6 中央図書館	メディアホール	S-47 「防災小説」で描く首都直下地震の姿 慶應義塾大学大木聖子研究室		
オンライン配信		So-4 「地域防災 × 生成 AI」の未来像～地域防災の取組がさらに進化し、継続できる可能性を探る ～ 広島県	So-5 関東大震災から 100 年 フード・ダイバーシティから考える防災と備蓄 尾西食品 株式会社	

すべてのセッションは、後日ホームページにてアーカイブ配信します

2023 9/18 月祝

ライブ配信

棟	会場	10:30～12:00	12:30～14:00
S1-2 教育文化ホール	B101	W-4 ((•)) 巨大地震から学ぶ想定される影響と対策そして伝承する大切さ BOUSAI ゼミな～る実行委員会	W-5 集まれ！防災女性職員とその応援団 第3弾 みんなで語ろう！『女性の視点からの防災』 内閣府男女共同参画局
	B102	W-9 消防士向け犬猫の心肺蘇生法体験会 一般社団法人 日本ペット BLS 防災学会	W-10 障害のある人と家族が安心できる福祉避難所の実現を目指して 東京都立調布特別支援学校
S1-5 大学会館	301A	W-14 すごろくで遊んで学ぶ！安政の南海トラフ地震 減災古文書研究会	W-15 ((•)) DIG 地震防災編の原点：新旧地形図の比較から災害リスクの読み解き方を学ぶ 海ぼうずの会(「ふじのくに DIG セミナー」参加者の会)
	301B	W-19 ソナエルベコとゆかいな仲間たちがお届けするソナエに役立つ裏テク教室 結乃社中（ソナエル食堂プロジェクト）	W-20 「beak」（防災用組み立て式食器） 奥村印刷 株式会社
S2-1 都市科学部	104	W-24 関東大震災が今起きたら、病院はどうなる？！被災想定を体験しどう備えるかを考える 一般社団法人 日本災害医学会	W-25 災害時には救急車は来ない！？自分でできる応急手当が命を救う 株式会社 PKウエーブ
S2-2 教育学部 7号館	104	W-32 災害時における授乳アセスメント（聞き取り）を体験しよう 母と子の育児支援ネットワーク	W-33 「もし今、大地震が起こったら…」自主防災会の会長が取るべき行動をシミュレーション QQ防災クラブ
N4-2 経済学部 1号館	101	W-37 きみはなにいろ？防災・減災スタンプラリー de 自己評価 東北大学災害科学国際研究所 地震津波リスク評価（東京海上日動）寄附研究部門	W-38 しぞ～か防災かるた大会 in 横浜（ぼうさいこくたい 2023） しぞ～か防災かるた委員会
	102	W-42 こども食堂防災拠点化プロジェクト！フェイズフリーで地域防災の未来を考えるワークショップ 特定非営利活動法人 全国こども食堂支援センター・むすびえ	W-43 ((•)) 私たちのまちを知ろう「鳥の眼・虫の眼」地震による津波災害 株式会社 明石スクールユニフォームカンパニー

2023 9/18 月祝

棟	会場	10:30～12:00	12:30～14:00
S2-2 教育学部 7号館	103	Os-5 ((•)) ダイバーシティが織りなす「防災の未来予想図」 特定非営利活動法人 日本防災士会 ダイバーシティ防災推進委員会	Os-6 ペットと同行避難ー今　自分にできること BOW・WAN ボランティア

2023 9/18 月祝

棟	会場	10:30～10:45	10:55～11:10	11:20～11:35	11:45～12:00	12:10～12:25	12:30～12:45	12:55～13:10	13:20～13:35	13:45～14:00
S1-5 大学会館	4F 小講堂	IG-13	IG-14	IG-15	IG-16		IG-17	IG-18	IG-19	
S2-1 都市科学部	1F ホール	IG-32	IG-33	IG-34	IG-35	※IG-51は12:05～になります	IG-36	IG-37	IG-38	IG-39
S2-2 教育学部 7号館	ギャラリー					IG-51	IG-52	IG-53	IG-54	IG-55
S3-6 中央図書館	ロビー	IG-68	IG-69	IG-70	IG-71	IG-72				

「未来に向かって」

クロージングセッションでは、今後の防災への想いや活動団体のPRを、若者に発表いただき、大会を締めくくります。
ぼうさいこくたいを最後までお楽しみください。

9月18日(月・祝) 14:30～
S1-2 教育文化ホール 101

ぼうさいこくたい イメージキャラクター

「BOSAI」の「B」とハートからデザインされ、人と人とのつながりで「防災」を作り上げ、安心安全な日常を願うというコンセプトで考案されました。

Bちゃん

ゴミ捨てマナーのお願い

会場内で購入した飲食物のゴミは大会ゴミ箱にお捨てください。
持ち込みの飲食物のゴミはお持ち帰りにご協力ください。
なお、大学が設置したゴミ箱は使用できません。

S セッション P12
Os オリジナルセッション P18
W ワークショップ P20
P プレゼンテーション P22
O 屋外展示 P26
IG イグナイトステージ P27
PS ポスターセッション P29

タイムスケジュール　オリジナルセッション

2023 9/17 日

ライブ配信

棟	会場	12:30 ～ 14:00	14:30 ～ 16:00	16:30 ～ 18:00
N4-3 経済学部 2号館	111	**Os-1 NHK民放6局防災プロジェクト#いのちともに守る** NHK民放6局 防災プロジェクト テレビ制作者セミナー　番組上映や制作者の講演 12:30-13:30 6局キャラクター大集合！いのちを守るクイズ大会 16:00-18:00 アナウンサー防災報道シンポジウム「本当に心に響く“呼びかけ”を考える」 NHK/ 民放キー局の6局が協力して、「6局キャラクターが結集する子供向け防災教室」「6局アナウンサー出演のシンポジウム」を展開します。これらの様子は、NHK「明日をまもるナビ」や民放各社のニュース･情報番組やプラットフォームでも放送･配信予定です。		
S3-1 教育学部 6号館	101	**Os-7 神奈川の関東大震災から100年の教訓を未来へつなぐ** オリジナルセッション神奈川 Os-7 実行委員会 12:30 ～ 12:40 開会挨拶 12:40 ～ 14:30 第Ⅰ部 神奈川の関東大震災 発生メカニズム及び被害と減災行動	14:40 ～ 16:20 第Ⅱ部 もし、関東大震災が再来したら	16:30 ～ 18:00 第Ⅲ部 過去の災害教訓を今、未来に語り継ぐ 関東大震災から100年間の災害教訓を抽出。自然と共存し、被害を最小限にする新時代の生き方、防災文化のありかたを展望します。ぜひ皆様の思い、経験、叡智をこのオリジナルセッションにお寄せください。
	102	**Os-8 シネマde防災～アニメを振り返り未来を語ろう～** U-Inspire JAPAN 12:30 ～ 18:00 シネマ de 防災～アニメを振り返り未来を語ろう～ 災害を題材としたアニメ映画をはじめとするエンタメを一緒に見ましょう 若者同士で感想を言い合うなど気軽に様々な人が入れる場をつくり、ゆるやかなつながりを作ります。 若者と交流したい方はぜひお越しください！		
N3-4 経営学部 1号館	エントランスホール	**Os-3 あの日奏でるピアノ「ローラちゃん」** あの日奏でるピアノ「ローラちゃん」 12:00 ～ 12:30 トークショー 12:30～12:50 ピアニスト演奏	13:00 ～ 14:50 ストリートピアノ 15:00 ～ 15:30 トークショー 15:30 ～ 15:50 ピアニスト演奏	16:00 ～ 18:00 ストリートピアノ
S1-5 大学会館	201	**Os-4 GENSAI めいろ～災害時あなたは逃げ切れるか?! ～** 三和商事株式会社 「GENSAI 迷路」は、火災時の低い姿勢でゴールを目指します。分かれ道の防災クイズに正解すれば無事脱出！小さなお子さま大歓迎！ぜひ親子で一緒にご参加ください。 12:30 ～ 18:00 GENSAI めいろ参加のご予約は下記よりお申込ください。 https://e-sanwa.jp/corporate/contact/ 予約された方を優先に案内します		
屋外展示場		**Os-12 防災ウォーク備** 一般社団法人 日本ウオーキング協会 12:30 ～ 18:00		
S3-6 中央図書館	メディアホール	**Os-10 BGM スクエア in ぼうさいこくたい 2023** BGM スクエア実行委員会 12:30 ～ 16:00 どなたでもお楽しみいただける音楽ライブ。音楽を通じて自助共助の大切さを分かち合ったり、防災に関心を持つきっかけづくりを目標にしています。どうぞお気軽にお立ち寄りください。		
		Os-11 東日本大震災から学ぶ／朗読劇「語り継ぐ南三陸～あの日・その前・その後～」 ごきげん一家 震災語り部×演劇。年代も性別も様々な宮城県南三陸町民の震災体験と復興の歩みをヒアリングし、語られた言葉だけで紡がれる朗読劇。あの日、何を乗り越え今をどう生きているのか。共に学び感じたいと思っています。 16:30 ～ 18:00		

2023 9/18 月祝

棟	会場	10:30 ～ 12:00	12:30 ～
N4-3 経済学部 2号館	111	**Os-1 NHK民放6局防災プロジェクト#いのちともに守る** NHK民放6局 防災プロジェクト テレビ制作者セミナー　番組上映や制作者の講演 10:30-11:00 ①テレビ朝日 100年前、大震災に遭遇した女性に学ぶ大地震への備え 11:10 ～ 11:40 ② TBS 最新の放送機器から見る「いのちを守る防災報道」 11:55 ～ 12:25 ③ NHK 8K カラーでよみがえる関東大震災 12:40 ～ 13:10 ④フジテレビ ぼうさい朗読会 13:20 ～ 13:50 ⑤日本テレビ 誰かのきっかけに…防災3つの視点 14:00 ～ 14:30 ⑥テレビ東京 ～解説委員が紐解く～ 9月に刻まれた災害の記憶 これらの様子は、NHK「明日をまもるナビ」や民放各社のニュース・情報番組やプラットフォームでも放送・配信予定です。	
S3-1 教育学部 6号館	101	**Os-7 神奈川の関東大震災から100年の教訓を未来へつなぐ** オリジナルセッション神奈川 Os-7 実行委員会 10:30 ～ 12:20 第Ⅳ部 神奈川で展開する地域防災・地域支援活動 12:30 ～ 14:00 第Ⅴ部 激甚化する風水害による被災体験から流域の風水害対策を考える 14:25 ～14:30 閉会挨拶 オリジナルセッション神奈川 Os-7 実行委員会構成団体 「かながわ人と智をつなぐ防災･減災ネットワーク」、「防災塾･だるま」、「神奈川地学会」、「ひらつか防災まちづくりの会」、「(一社) 神奈川建築士会」、「(公社) 日本建築士会連合会」、「神奈川大学建築学部災害リスクマネジメント研究室」、「防災 & 情報研究所」、「神奈川大学建築学部建築学科 落合努」	
	102	**Os-9 ぼうさいこくたい子ども会議 2023** 特定非営利活動法人ユナイテッドかながわ 10:30 ～ 14:00 ぼうさいこくたい子ども会議 2023 小学校高学年の子供たちが自分の街の地域防災について調べて、ディスカッションを行い、その結果をプレゼンいたします。また、プレゼン発表の後は、参加する子供たちが一斉に集い、「ぼうさいこくたい全国子どもサミット2023」を開催いたします。この取り組みによって、子供たちの視点ならではの意見の抽出、また斬新な災害対策案を引き出すことを目指し、大人たちにとっても新たな気づきやアイデアを得ることと、改めて防災について多角的に考える機会の創出を図ります。	
N3-4 経営学部 1号館	エントランスホール	**Os-3 あの日奏でるピアノ「ローラちゃん」** あの日奏でるピアノ「ローラちゃん」 10:00 ～ 11:30 ストリートピアノ 12:00 ～ 12:30 トークショー 12:30 ～ 13:00 ピアニスト演奏 13:30 ～ 15:00 ストリートピアノ ローラちゃんを見て・聴いて・触れて心に留めていただき、備えるきっかけになっていただけると幸いです。 今日、明日にでも起きうること、自身が、仲間が、生きていてこそ、未来がある！	
S1-5 大学会館	201	**Os-4 GENSAI めいろ～災害時あなたは逃げ切れるか?! ～** 三和商事株式会社 10:30 ～ 14:00 GENSAI めいろ参加のご予約は下記よりお申込ください。 https://e-sanwa.jp/corporate/contact/ 予約された方を優先に案内します	
屋外展示場		**Os-12 防災ウォーク備** 一般社団法人 日本ウオーキング協会 10:30 ～ 14:00 備える体験・体感！防災ウォーキング。最後は逃げるチカラ！ ・無事に逃げきるための歩き方体験 ・無事に逃げきるための防災クイズ体験 日頃の歩き方にも役立つ知識を習得していただきます。	
N4-2 経済学部 1号館	100A	**Os-2 全国防災関係人口ミートアップ@ぼうさいこくたい 2023** 全国防災関係人口ミートアップ 10:30 ～ 14:00 ○全国の 5,600 人の公務員が集うオンライン市役所のうち、兵庫県立大学特任教授の室崎先生にいただいた「防災は全公務員のリテラシー」を旨に活動する有志のコミュニティが発信するコンテンツ「全国防災関係人口ミートアップ」。 ○この人気のオンラインコンテンツ「全国防災関係人口ミートアップ」を、ぼうさいこくたい 2023 会場でリアルに実現。2022 の会場では、立見や会場には入れなかった人多数の大人気コンテンツで、当日、来場した方全員で、フィッシュボウル形式のディスカッションを行う。 立場や地域を超えた顔の見える関係づくり「全国防災関係人口ミートアップ@ぼうさいこくたい 2023」をみんなで盛り上げて下さい。 	

S セッション P12
Os オリジナルセッション P18
W ワークショップ P20
P プレゼンテーション P22
O 屋外展示 P26
IG イグナイトステージ P27
PS ポスターセッション P29

S1-2 教育文化ホール 101

S-1　17日 11:00 ～ 12:15

オープニングセッション

内閣府防災担当

①オープニング演奏
　・横浜市消防音楽隊
②主催者挨拶＆開催地挨拶
　内閣府特命担当大臣
　清家　篤（防災推進協議会会長、防災推進国民会議議長）
　黒岩祐治 (神奈川県知事)
　山中竹春 (横浜市長)
③オープニング動画「関東大震災から100年 震源地神奈川の傷跡と教訓」
④基調講演「関東大震災ー救護・救済を中心に」
　北原糸子(立命館大学歴史都市防災研究所客員研究員)

S-2　17日 12:30 ～ 14:00

ハイレベルセッション
「次の 100 年に向けて、来るべき巨大地震にどう備えるか」

内閣府防災担当

開催地(神奈川県・横浜市)のリーダーと防災の専門家の方々が、関東大震災を振り返りつつ、次の100年に向けて、来るべき巨大地震に備えるため、それぞれのお立場からどう取り組むかをお話しいただきます。
　聞いているみなさんが、それぞれ「自分事」として、「セッション」を通じて、災害多発国日本に住む私たちが、改めて災害の備えの大切さを見つめ直していただくことで、関東大震災をはじめとする災害の経験や教訓を次世代へつなぐ一助となることを目指します。

■登壇者
入江 さやか（松本大学　地域防災科学研究所　教授）、上村 昇（内閣府大臣官房審議官（防災担当））、大木 聖子（慶應義塾大学 環境情報学部 准教授）、大久保 智子（横浜市副市長）、黒岩 祐治（神奈川県知事）、阪本 真由美（兵庫県立大学減災復興政策研究科教授）、福和伸夫（モデレーター）（名古屋大学名誉教授）

S-3　17日 14:30 ～ 16:00　自治体向け、一般向け

誰一人取り残さない防災を目指して

神奈川県

1923年（大正12年）9月1日、相模トラフを震源とするM7.9の関東大震災が発生しました。
震源域の直上である神奈川県では、激しい揺れにより多くの建物が倒壊、その後の大火により都市は壊滅状態となるとともに、県内各地で土砂災害や津波被害が発生し、多くの人命が失われました。
現在からは想像をする事ができない事態が100年前の神奈川で起きています。
関東大震災最大の被災地である神奈川県から、今後の大地震に備え、どう取り組むべきか、今後の方策を探ります。

■登壇者：黒岩　祐治（神奈川県知事）、戸羽　太（株式会社オフィスTOBA　代表取締役社長）、加藤　篤（特定非営利活動法人日本トイレ研究所　代表理事）、浅野　幸子（減災と男女共同参画　研修推進センター　共同代表）、菅野　由美子（女性防災クラブ平塚パワーズ会長）、内藤　則義（公益財団法人　神奈川県身体障害者連合会　会長）、金子　寿（Friendly Life Community　会長）、鈴江　奈々（日本テレビ放送網株式会社　アナウンサー）

S-4　17日 16:30 ～ 18:00　一般向け

台風防災の過去・今・未来

横浜国立大学 台風科学技術研究センター【TRC】

２０２１年、横浜国立大学には、日本初の台風に特化した台風科学技術研究センター（TRC）が設立されました。TRCが行っている最新の台風研究を紹介します。
過去：関東大震災にも台風の影響があった？
現在：台風の眼の中に航空機で入って行う直接観測、台風予測から導き出す台風被害予測、ムーンショット目標８の取り組みへ。
未来：台風を脅威から恵に！～タイフーンショット計画～

■登壇者：筆保 弘徳（横浜国立大学 教授）、坪木 和久（名古屋大学・横浜国立大学 教授）、満行 泰河(横浜国立大学 准教授)、笹岡 愛美(横浜国立大学 教授)、多嘉良 朝恭（あいおいニッセイ同和損保 担当次長）、おくむら 政佳（横浜国立大学 IMS客員研究員）、三宅 惇子（気象予報士／気象キャスター）

S-5　18日 10:30 ～ 12:00　一般向け

知ってほしい！活かしてほしい！
政府の地震調査研究～これからどうする !?

地震調査研究推進本部 / 文部科学省

約100年にわたる政府等の地震調査研究を振り返るとともに、これまでの地震調査研究推進本部（地震本部）の成果を紹介します。また、地震本部の成果の受け手・情報発信者側の様々なセクターからパネリスト招き、成果を社会に活かすため、これからの政府の地震調査研究で何ができるのか、何が求められるのかを議論します。

■登壇者：福和　伸夫（名古屋大学名誉教授 / 地震調査研究推進本部政策委員会委員長）、平田　直（国立大学法人東京大学名誉教授 / 地震調査研究推進本部地震調査委員会委員長）、松浦　律子（公益財団法人地震予知総合研究振興会上席研究員 / 歴史地震研究会会長）、廣井　慧（国立大学法人京都大学防災研究所准教授 / 地震調査研究推進本部政策委員会広報検討部会委員）、神田　克久（株式会社小堀鐸二研究所プリンシパルリサーチャー / 地震調査研究推進本部政策委員会広報検討部会委員）、鎌谷　紀子（気象庁地震火山部地震津波監視課長）、杉原　英和（一般社団法人神奈川県建設業協会事業部長）、中川　和之（株式会社時事通信社解説委員 / 地震調査研究推進本部政策委員会広報検討部会委員）

S-6　18日 12:30 ～ 14:00　自治体向け、一般向け

横浜の関東大震災体験、
そして今後の災害対応

公益財団法人 日本消防協会

関東大震災から 100年の区切りの年を迎え、当時の横浜市での震災による大きな倒壊被害を振り返りながら、今後の消防防災対策について横浜市の防災責任者の講演を行い、その後、講演者も含めた学者・研究者等でパネルディスカッションを行います。その際、女性の活動、位置付けなどを含めて、今後の消防体制のあり方を協議し、地震発生に伴う総合的な対策の一層の充実に資することを目的とします。

■登壇者：石川　永子（横浜市立大学准教授）、小谷　敦（総務省消防庁国民保護・防災部長）、髙坂　哲也（横浜市危機管理監）、半田　伊津美（横浜市西消防団副団長）、秋本　敏文（公益財団法人日本消防協会会長）

S2-1 都市科学部 101

S-7　17日 12:30 ～ 14:00　自治体向け

地域防災力を向上させるために必要な取組みを産学官民の視点で考える～デジタルファースト宣言を行った静岡県浜松市で考える～

株式会社 JX 通信社

昨今の災害は頻発化・激甚化・広域化が顕著であり、産（民間企業）・学（教育機関）・官（自治体）、民（地域住民およびNPO）の４者の相互理解および連携による実効性のある防災・災害対応が一層求められています。本セッションは、令和４年台風第１５号による被災を経験した静岡県浜松市の産学官民それぞれの立場で地域防災力を向上させるために必要と考える視点を共有しあい、今後の連携の在り方を模索します。

■登壇者：広兼 達也（株式会社JX通信社 ビジネス本部公共戦略部 担当課長）、泉澤 佑佳（浜松市 危機管理監危機管理課 事業推進グループ）、山浦 篤（株式会社フジヤマ 本社営業部担当部長 兼 DX推進室長）、木村 佐枝子（常葉大学健康プロデュース学部教授・同大学院臨床心理学専攻教授、地域貢献センター長、ボランティアサークルThunderBirds顧問）、今田 悠月（常葉大学 健康プロデュース学部心身マネジメント学科4年生、ボランティアサークルThunderBirds災害担当）、鈴木 まり子（浜松の企業が手をつなぐ災害支援ネットワーク（はままつnanet）事務局長）

S-8　17日 14:30 ～ 16:00　自治体向け、一般向け

災害教訓と地域・福祉の防災

特定非営利活動法人 日本防災士会

基調講演で大規模災害の教訓を再認識し、事例発表にて地区防災計画策定の更なる推進や防災教育を通じ、自助・共助の仕組みの推進を図り、地域防災力の向上を目指して、室﨑名誉教授、鍵屋教授（基調講演テーマ：地震災害・福祉防災）、黒田典子（防災教育）、葛西優香（地区防災）の４名による講演後にそれぞれの内容に即したディスカッションを実施し、地域防災力の向上と今後の課題を共有し課題解決方法を共有する。

S セッション P12
Os オリジナルセッション P18
W ワークショップ P20
P プレゼンテーション P22
O 屋外展示 P26
IG イグナイトステージ P27
PS ポスターセッション P29

S-9　17日 16:30 ～ 18:00　一般向け

事業継続 (BC) 普及セミナー「関東大震災から100年、これからの事業継続を考える」

特定非営利活動法人 事業継続推進機構

◆開催形式：横浜国立大学 都市科学部講義棟(S2-1)および各受講者端末前(テレビ会議システム「Zoom」を活用)◆内容：16:30 ～ 16:50「災害時の事業継続(BC)」西川 智 様／特定非営利活動法人事業継続推進機構　副理事長　16:50 ～ 17:10「事業継続(BC)の事例紹介」川村 丹美 様／特定非営利活動法人事業継続推進機構 監事　17:10 ～ 17:20「東北大学でのBCPの運用・訓練の経験」丸谷 浩明 様／東北大学 災害科学国際研究所教授　17:20 ～ 17:30「事業継続(BC)を検証する演習事例」細坪 信二 様／一般財団法人危機管理教育&演習センター　理事長　17:30 ～ 18:00パネルディスカッション「これからの事業継続(BC)の推進について」西川 智 様／特定非営利活動法人事業継続推進機構　副理事長　川村 丹美 様／特定非営利活動法人事業継続推進機構　監事中谷 明男 様／特定非営利活動法人事業継続推進機構　幹事　丸谷 浩明 様／東北大学 災害科学国際研究所教授　細坪 信二 様／一般財団法人危機管理教育&演習センター　理事長

S-10　18月 10:30 ～ 12:00　企業向け、一般向け

「災害への備え」はじめませんか？内閣府と賛同企業による「災害への備え」に向けたパネルディスカッションを開催！

内閣府（防災担当）「災害への備え」コラボレーション事業　事務局

内閣府では、国民・家庭・事業所のレベルでの防災意識を高め、日常生活における「災害への備え」を促進するため、民間企業等に内閣府とコラボレーションしていただく事業を実施しています。イベントでは、賛同企業の皆様とパネルディスカッションを行い、国民の皆様へ改めて「災害への備え」を呼び掛けるとともに、企業の皆様へ事業活動の中で「災害への備え」を呼び掛けることの意義を発信していきます。

■登壇者：鈴木　毅（内閣府　政策統括官（防災担当）付　参事官（地方・訓練担当）　兼「災害への備え」コラボレーション事業　事務局リーダー）
「災害への備え」コラボレーション事業賛同企業数社

S-11　18月 12:30 ～ 14:00　一般向け

関東大震災から100年 私たちの都市は巨大災害に強くなったのか

一般社団法人　日本損害保険協会

1．主催者あいさつ
新納啓介（一般社団法人 日本損害保険協会 会長）
2．基調講演「関東大震災から100年 私たちの都市は巨大災害に強くなったのか？」
＜講演者候補＞・廣井 悠 氏（東京大学教授）
3．鼎談「教えて！廣井先生」
＜出演者＞・廣井 悠 氏（東京大学教授）・堀　潤氏（ジャーナリスト・元NHKキャスター）・田中　陽南氏（TOKYO MXキャスター）

■登壇者：廣井 悠（東京大学教授）、堀 潤（ジャーナリスト）、田中 陽南（TOKYO MXキャスター）

S2-1 都市科学部 102

S-12　17日 12:30 ～ 14:00　企業向け、自治体向け

被災地支援経験を活かした多セクター（自治体・NPO・民間企業）連携による被災者支援の機能強化と社会実装への取組みについて

特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム（JPF）

ジャパン・プラットフォームの防災減災事業における、NPOによる災害被災者支援の経験を活かした情報共有システムの活用、災害ケースマネジメントのノウハウ移転、災害対応・避難所運営人材の研修開発、企業のリソースの災害時の積極的な活用支援の取組み等を紹介します。また、自治体を中心とした支援従事者と連携した社会実装をどう可能とするか、具体化している自治体との取組みを紹介して更なる参画を呼び掛けていきます。

■登壇者：立岡 学（特定非営利活動法人ワンファミリー仙台　理事長）、石原 達也（特定非営利活動法人岡山NPOセンター　代表理事）、辛嶋 友香里（一般社団法人ピースボード災害支援センター　国内災害事業／現地コーディネーター）、谷口 隆太（株式会社電通　+ソナエ・プロジェクト）、瀧田　真理（特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム　休眠預金等活用事業 プログラムオフィサー）

S-13　17日 14:30 ～ 16:00　企業向け、自治体向け

防災分野へのドローン利用の最前線「防災・インフラ分野のドローン計測データ利活用の未来 ～キーとなる技術は？～」

一般社団法人日本ドローンコンソーシアム

南海トラフ地震、首都直下地震など大規模災害が発生した場合、迅速な救援救護活動と共に、インフラの早期復旧も大きな課題です。
そのためには、日常から空を活用した各種ドローンのフェーズフリーな活動が期待されており、そこでは、ドローンにより計測された映像等や点群データのAIを用いたリアルタイム解析、そしてそのデータ共有が重要と考えます。そしてその技術を享受すべき住民とどう協働するかも課題です。そこで本セッションでは、各分野の第一線で活動するに研究者・技術者らとともに、防災やインフラ、地域で活用できる最先端の技術、そしてその将来展望について議論します。

■登壇者：西山　哲（岡山大学学術研究院　環境生命自然科学学域　教授）、中新　健太（Skydio合同会社 規制・官公庁渉外担当）、遠藤　秀文（株式会社ふたば　代表取締役社長、技術士（建設部門）、APEC Engineer (Civil)）、南　政樹（PwCコンサルティング合同会社テクノロジー＆デジタルコンサルティング/シニアマネージャー WeRobotics, Japan Flying Labs/R&D Director 国立大学法人金沢大学大学院自然科学研究科　教育教員（非常勤教授））、酒井　直樹（一般社団法人　日本ドローンコンソーシアム理事/防災部会長 国立研究開発法人防災科学技術研究所　水・土砂防災研究部門 副部門長，筑波大学リスク・レジリエンス工学学位プログラム教授（協働大学院），情報・システム研究機構 統計数理研究所リスク解析戦略研究センター客員教授，マレーシア工科大(UTM)客員教授，マレーシアテナガナショナル大学(UNITEN)非常勤教授）

S-14　17日 16:30 ～ 18:00　自治体向け、一般向け

災害時の福祉支援に関する団体同士の連携

特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン

災害時の福祉支援において、その障がいの種類ごとに違った課題を抱えるがゆえの対応の難しさから、障がい者が支援の枠から置き去りにされてきたという現実がある。ここでは、福祉施設運営者や福祉支援者が被災時に直面した課題を提示し、共通した課題や個別の課題を洗い出していく。
その上で、社協や災害支援団体とが課題を共有し、「誰一人取りこぼさない」支援のために「必要な人びとに必要な支援を」届けるための糸口を探る。

■登壇者：橋本笙子（特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン　国内事業部 次長）、阿部由紀（一般社団法人BIG UP石巻　代表取締役理事）、新谷絢子（特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン　国内事業部　空飛ぶ捜索医療団"ARROWS"看護師）、山本智恵子（合同会社といろ　代表）、吉田正勝（一般社団法人福島県聴覚障害者協会　会長）

S-15　18月 10:30 ～ 12:00　自治体向け、一般向け

災害時、行政と民間の支援、どうやって調整するの？

特定非営利活動法人 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD）

この出展は、行政と民間が協力すれば、より効果的な支援体制が構築できるかどうかを検討するためのセッションです。JVOAD、内閣府、全社協、NPO（災害中間支援組織）など、官民の団体が登壇し、制度的支援と民間支援の立場から、3つのテーマについて議論します。セッションの最後には、登壇者が最新情報を提供し、各テーマについて、官民の補完的な関係を実現するためのコーディネーションの必要性をまとめます。

■登壇者：本間 優子（内閣府（防災担当）　企画官）、駒井 公（社会福祉法人　全国社会福祉協議会）、石田 真実（災害復興くらし応援・みんなのネットワークかながわ　事務局長）、明城 徹也（全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD）　事務局長）、神元 幸津江（全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD））

S-16　18月 12:30 ～ 14:00　自治体向け、一般向け

BOSAI Treasure & Future ～防災の宝物と未来を考える～

神戸市

関東大震災や阪神・淡路大震災をはじめ、様々な自然災害を経て、人々がかけがえのない「防災の宝物（Treasure）」を築き上げてきたことを振り返り、それがどのような「防災の未来（Future）」につながるのかについて考えるトークセッションを行います。
また被災の経験から生まれた防災に関する良き変化や未来へ継承したいものをワークショップ形式で会場参加者のみなさんから募集し、防災の宝物と未来についてパネリストの皆さんと一緒に考えます。

■登壇者：あんどうりす（アウトドア防災ガイド／兵庫県立大学大学院　減災復興政策研究科　博士課程）、神原　咲子（神戸市看護大学　看護学部　災害・国際看護学分野　教授）、行司　高博（人と防災未来センター　研究部長）、中川　和之（時事通信社解説委員／日本ジオパーク学術支援連合委員（地震学会））、臼田裕一郎（国立研究開発法人防災科学技術研究所　総合防災情報センター長）

S2-1 都市科学部 103

S-17　17日 12:30 ～ 14:00　自治体向け、一般向け

あなたのまちを支えたい！災害時支援人材シェアリングネットワーク

WAA ReSCue

100年前、関東大震災で学生たちのボランティアが活躍していた。100年後の2023年、私たちWAA ReSCueは100年後の日本を見据え、連携する地域の人々と平時の顔の見える交流や協働の上に、コレクティブインパクトでフェーズフリーな災害時支援人材のシェアリングネットワーク構築を始動した。支援人材養成のための講義や防災ワークショップの紹介を始め、防災の新たな支援人材としての可能性や意義について、ディスカッションする。

■登壇者：目黒 公郎（東京大学教授、東京大学大学院情報学館総合防災情報研究センター長、東京大学生産技術研究所附属災害対策トレーニングセンター長）、福和 伸夫（名古屋大学名誉教授、あいち・なごや強靭化共創センター長）、島田由香（株式会社YeeY 共同創業者/代表取締役、アステリア株式会社 CWO（Chief Well-being Officer）、一般社団法人日本ウェルビーイング推進協議会 代表理事）、石川淳哉（（一社）助けあいジャパン代表理事、social good producer（ソーシャルグッドプロデューサー））

S-18　17日 14:30 ～ 16:00　一般向け、学生向け

未来の防災教育を考える

防災教育学会

防災教育は広がってきたが積極的な実践校とほとんどとりくめていない学校との二極化が課題です。この20年間の積み重ねで、良い防災教育を正しく評価して広げ、おかしな防災教育を批判して改善しようとする動きが形成されてきたとはいえ、まだまだ、疑問符が付く実践も散見されます。若手、中堅の実践者・研究者・実践研究者が、これまでの防災教育会の歴史と発展を振り返りながら、未防災教育の未来を提案します。

■登壇者：中野元太（京都大学防災研究所　助教）、石原凌河（龍谷大学政策学部　准教授）、津守大地（宮城県涌谷高等学校　教諭）、冨田温子（横浜国立大学教職大学院）、田中達也（神戸常盤大学　教育学部　こども教育学科）、岡本正（銀座パートナーズ法律事務所弁護士）、諏訪清二（防災教育学会　会長）

S-19　17日 16:30 ～ 18:00　企業向け、自治体向け

防災情報のデジタル化（防災 DX）はどう進んでいくのか

人と防災未来センター（公益財団法人ひょうご震災記念 21 世紀研究機構）

国と自治体、自治体間（都道府県と市町村）で、災害情報を共有するため方策ににについて、制度的、技術的な観点から議論します。
全都道府県を対象にした防災情報システムに関する実態調査（2023年3月）の結果を踏まえ、自治体、企業（ITベンダ）などをまじえて、課題、解決策などを具体的に議論します。

■登壇者：伊藤　潤（愛知大学　国際コミュニケーション学部国際教養学科　准教授）、臼田　裕一郎（国立研究開発法人防災科学技術研究所　総合防災情報センター長、筑波大学　教授（協働大学院）、AI防災協議会　理事長、防災DX官民共創協議会　理事長）、岡本　正（銀座パートナーズ法律事務所 弁護士・博士（法学）・気象予報士）、有吉　恭子（吹田市総務部危機管理室　室長、人と防災未来センター　リサーチフェロー、総務省災害マネジメント総括支援員（GADM）、国立研究開発法人防災科学技術研究所　客員研究員、関西大学大学院社会安全研究センター　研究員）

S-21　18月 12:30 ～ 14:00　自治体向け、一般向け

最新の防災施策に関する市民社会からの提案

防災・減災日本 CSO ネットワーク（JCC-DRR）

2022年のCOP27にて、世界的な整備が合意された災害の「早期警戒システム」。
その整備が最も進んでいる日本でもなお､避難を「しない人」「できない人」が存在し、被害が生まれ続けています。
本セッションでは、早期警報システムやハザードマップ、避難所運営などの防災施策の課題について、災害支援に携わるNGOなどの市民社会や企業の視点から議論し、よりよい防災への提案をしてまいります。

■登壇者：三浦 友幸（プロジェクトリアス 代表理事）、中村 清美（国土防災技術 国際部事業企画課長）、小美野 剛（CWS Japan 事務局長）、辛嶋 友香里（ピースポート災害支援センター (PBV) 国内災害事業 / 現地コーディネーター）、浅井 伸行（創価学会インタナショナル(SGI) 人道・開発部長）

S2-1 都市科学部 105

S-22　17日 12:30 ～ 14:00　専門向け（学術界）、一般向け

福祉避難所としての特別支援学校の可能性と課題 ～みんなで一緒に助かるために～

特別支援学校の災害対策を考える facebook グループ

特別支援学校が福祉避難所となったら、どうする？どうなる？誰が避難できるの？ちゃんと運営できるの？在校生の授業はどうなる？などなど、問いはつきないと思いますが、みなさんは想像できますでしょうか？特別支援学校の現状を知ることからはじめ、どんな課題を解決すれば、どんな可能性を秘めているのか？特別支援学校教諭、障害者の保護者、行政職員、学識経験者、地域の災害ボランティア、それぞれの視点で熱く語ります。

■登壇者：青田 良介（兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科 教授）、一杉 茂樹（静岡県立富士特別支援学校 教諭）、小村 隆史（常葉大学社会環境学部 准教授）、楠本 あゆ美（日本防災研究所所長）、石橋 彩子（自治体職員（東京都荒川区））

S-23　17日 14:30 ～ 16:00　企業向け、自治体向け

災害に備え、災害を乗り越える ～新しい防災への取組み～

一般社団法人災害防止研究所

成長と発展を目指す「新しい防災への取組み」をテーマに、災害防止研究所の実践例として、防災グッズ大賞展／㈱ビジネスガイド社、防災備蓄の促進と防災備蓄食品の食品のフードバンクへの寄付/㈱グリーンデザイン＆コンサルティング、地域防災活動への取組み等を紹介し、防災施策の課題、多様な組織連携による活動の可能性、心のケアへの配慮など未来につながる防災意識普及活動の重要性を提言する。会場は、約40名。先着順の聴講となります。オンラインでの視聴が可能です。

■登壇者:吉田明生（一般社団法人災害防止研究所　代表理事）、野村佳正（千葉科学大学　危機管理学部危機管理学科　教授（安全保障学博士））、水谷修（水谷修青少年問題研究所代表）、芳賀信享（株式会社ビジネスガイド社　代表取締役社長）、笠浩一郎（株式会社グリーンデザイン＆コンサルティング　代表取締役）、柏木白光（書家・紫峰書道会会長）

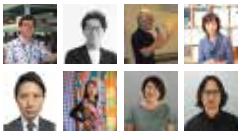
S-24　17日 16:30 ～ 18:00　自治体向け、一般向け

やさしい日本語から防災ピクトグラムまで ～安全確保行動を促すために効果的な手法は？～

特定非営利活動法人 防災デザイン研究会

これまで災害発生時に適切な避難行動ができなかったことで、大切ないのちが失われてきました。人の行動に強く影響を与えるのは、ビジュアルか？言葉か？阪神・淡路大震災をきっかけにスタートした2つの標準化へのアプローチ。関東大震災から100年、国籍・民族・ジェンダーと社会は多様化し、デジタルの普及で情報媒体も変化しました。社会実装を目指してきた研究者やデザイナー達が「いのちを守る安全行動につなぐ情報デザイン」を語ります。会場は42名と座席に限りがあり､先着順です。また、オンラインでの視聴も可能です。

■登壇者：林 勲男（国立民族学博物館 名誉教授 ／ NPO法人 防災デザイン研究会 理事長）、卜部 兼慎（株式会社GK京都 プロデュサー ／ NPO法人 防災デザイン研究会 副理事長）、花岡 正義（「やさしい日本語」有志の会　代表）、杉本 篤子（「やさしい日本語」有志の会）､水上 貴光（紀の川市立安楽川小学校 教諭）､高尾 戸美（ミュージアムコミュニケーションデザイナー）、関根 優子（株式会社GK京都　グラフィックデザイナー）、名倉 剛志（株式会社GK京都 第1デザイン部 アートディレクター）



S-25　18月 10:30 ～ 12:00　企業向け、自治体向け

防災は地域間共創、今ここから生まれる！

全国女性社長の共創防災会議

全国の女性社長たちの防災の取り組み、地域を超えた防災連携、共創事例を踏まえ、D&I防災の提言をし、防災への参加を促します。パネリストは協力団体の女性社長8名と地域防災研究者の小山真紀先生、モデレーターはSDI研究所理事の田原真人。対象は企業経営者、学術関係者、行政、関心を持たれる方。共創防災ネットワークに参画希望する仲間を広く求め､あらゆる方々が連携して防災を推進するつながり創出を目指します。

■登壇者：小山真紀（岐阜大学流域圏科学研究センター　准教授）、鈴木世津（ヒューネクスト株式会社　femUniti Inc.　代表取締役SD＆I研究所　代表理事）、境順子（株式会社マスコール　代表取締役）、光畑由佳（モーハウス　代表取締役　特定非営利活動法人子連れスタイル推進協会　代表理事）、田畑智子（合同会社　D&S EdNet　代表取締役）、奥川季花（株式会社ソマノベース　代表取締役）、西口香織（明友産業株式会社　代表取締役常務）、田原真人（一般社団法人SD＆I研究所　理事）、早川友子（合同会社DEAR FRIENDS　代表社員）、山口玉緒（株式会社エンタープライズ山要代表取締役　株式会社寝屋川興業　取締役）

S セッション P12
Os オリジナルセッション P18
W ワークショップ P20
P プレゼンテーション P22
O 屋外展示 P26
IG イグナイトステージ P27
PS ポスターセッション P29

S-26 18(月) 12:30 ～ 14:00　一般向け

「防災×女性リーダー」で地域の防災力をアップデートする

女性のエンパワメントで高める地域の防災力リーダー育成事業実行団体ネットワーク

日頃から、各地域で防災・減災活動、女性のリーダー育成に取り組む全国の団体（男女共同参画地域みらいねっと、いわき放射能市民測定室、こども女性ねっと東海、大阪男女いきいき財団、U.grandmaJapan、こうち男女共同参画社会づくり財団、ミューズプランニング）が、休眠預金を活用して「女性のエンパワメントで高める地域の防災力リーダー育成事業」に取り組んでいる。
本事業は、平時から「ジェンダー平等の視点」が地域に反映され、多様性に配慮された"しなやかな社会"が醸成されることを目標とし、２年半かけて行われるものである。全国各地域が防災･減災の課題や、女性のリーダーシップの進展状況を踏まえて、ワークショップや被災地視察などの様々な取り組みを通じ、女性の活躍が災害の困難を軽減する地域創りをめざす。
本事業に取り組む全国の実行団体が連携し、それぞれの取り組み・事例を発表する。

■登壇者・団体：小山内世喜子（男女共同参画地域みらいねっと）、矢吹優美子（いわき放射能市民測定室たらちね）、こども女性ねっと東海、林久善（大阪男女いきいき財団）、松島陽子（U.grandmaJapan）、中村智砂（こうち男女共同参画社会づくり財団）、ミューズプランニング、鈴木祐司（地域創造基金さなぶり）、石井山竜平（東北大学大学院教育学研究科准教授）

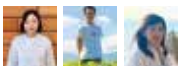
S-28 17(日) 14:30 ～ 16:00　一般向け

「学校での食の在り方」から「災害時の食と栄養問題」の解決策を探る～「いつも」の生活で「もしも」に強くなる！～

食べる支援プロジェクト（たべぷろ）

本セッションでは、横浜国立大学教育学部附属鎌倉小での地域に根差した食育実践を防災の観点から紐解き、災害時の食と栄養の問題を織り交ぜながら、平時からの栄養バランスのとれた食事による健康な体づくりが防災の基本であり自助につながること、また顔の見える関係性が育まれている地域社会が共助力を高めていくことを示唆していきます。セッションに先立ち、同校4年生の児童を対象に行ったコラボ授業での様子も発表します！

■登壇者：望月佐知（横浜国立大学教育学部附属鎌倉小学校　栄養教諭）、白土卓志（株式会社いかす 代表取締役 / 湘南オーガニック協議会会長 / 一般社団法人 次代の農と食をつくる会 理事　など）、須賀智子（食べる支援プロジェクト（たべぷろ）事務局 / Crops -Food × ESD Design-代表）



S-30 18(月) 10:30 ～ 12:00　専門向け（学術界）、一般向け

本当はとても身近な「仙台防災枠組」！ ー折り返しの年に考える、今まで と これからー

東北大学災害科学国際研究所

1. 開会挨拶と所長挨拶
2. 話題提供
   ①仙台防災枠組みの市民への理解促進に向けた取り組み　東北大教授
   ②仙台市としての仙台防災枠組み中間評価の取り組み　仙台市職員
   ③仙台防災枠組みの実施・インクルーシブ防災の観点　児等相談支援センター
   ④仙台防災枠組みの実施・NGOの取り組みから　NGO職員
3. 登壇者＋会場参加者との意見交換
   テーマ「連携して仙台防災枠組を進めるのは？」

■登壇者：泉　貴子（東北大学災害科学国際研究所 教授）、高橋 みちる（仙台市防災環境都市推進室・参事兼防災環境都市企画担当課長）、遠山 裕湖（宮城県医療的ケア児等相談支援センター「ちるふぁ」 センター長）、小美濃 剛（チャーチ・ワールド・サービス事務局長）、丸谷　浩明（東北大学災害科学国際研究所　教授）、栗山進一（東北大学災害科学国際研究所　所長）

S2-1 都市科学部 107

S-32 17(日) 12:30 ～ 14:00　専門向け（学術界）、自治体向け

災害中間支援組織って何？ーその模索と萌芽ー

一般社団法人 地域安全学会 実務者企画委員会

近年、大規模災害においてはボランティアなど多くの団体が現地で様々な支援を行っていますが、一方で円滑、効果的な活動のためには各団体間の十分な連携、調整が必要です。国の防災基本計画修正においても、その役割を担う災害中間支援組織の育成、強化が明確化されるなど注目が高まっていますが、行政側も「そもそも災害中間支援組織って何？」「どうやって関わっていけばいいんだろう？」と思っているのが大半ではないでしょうか。そこで今回は、各地で中間支援に携わっている方々から、これまでの活動の経緯や課題、先進的な取組を紹介いただきながら、今後どう取り組んでいくかなど、研究者、行政実務者も交えながら議論を深めたいと思います。

■登壇者：明城　徹也（(認定NPO法人)全国災害ボランティア支援団体ネットワーク　理事・事務局長）、冨永　達也（宇和島市総務企画部危機管理課　課長補佐）、松島　陽子（(NPO法人) U.grandma Japan　代表理事）、太田　智久（富士市危機管理室防災危機管理課　統括主幹）、加藤　慎也（富士市社会福祉協議会ボランティアセンター　上席主事）、小松　剛（伊那市総務部危機管理課　係長）、岡田　恵実（豊橋市防災危機管理課　主事）、小山　真紀（岐阜大学流域圏科学研究センター　准教授）、古橋　勝也（京都府危機管理監付　参事）

S2-1 都市科学部 106

S-27 17(日) 12:30 ～ 14:00　自治体向け、一般向け

一緒に作ろう「地区住民による津波防災対策計画立案のための手引き」

国際津波防災学会

国際津波防災学会津波防災対策検討分科会は、これまで17回の分科会会合、4回の公開検討会を開催して、各地区住民が、防潮堤や津波避難訓練などに限定することなく、その実情に合わせて、津波防災対策計画を立案する際に参考となる手引きの全体像を分野横断的に検討してきました。この度、「地区住民による津波防災対策計画立案のための手引き」の目次案がまとまりましたので、関係者の方々から目次案についてご意見を伺うとともに、今後の原稿執筆・編集・公表活動への参加者・協力者を募ることを目的として、本セッションを開催します。具体的には、分科会幹事2名が目次案の概要と、本「手引き」制作に向けた活動計画を紹介した後、パネリストが内容などについて助言と講評をおこない、さらにフロア参加者の皆さんを交えて、意見を交換します。

■登壇者：市川 洋（国際津波防災学会津波防災対策検討分科会 幹事）、濱田 英外（国際津波防災学会津波防災対策検討分科会 幹事）、大場（提髪）玲子（名古屋市港防災センター センター長（指定管理者：丹青社・コニックス共同事業体））、清野 聡子（九州大学大学院工学研究院環境社会部門准教授）、三浦 友幸（(一社)プロジェクトリアス 代表理事、気仙沼市議会議員）、村越 淳（高知県黒潮町役場情報防災課 課長）

S-29 17(日) 16:30 ～ 18:00　企業向け、自治体向け

被災者支援制度を各セクターから考える ～有効な被災者支援の為に

３．１１から未来の災害復興制度を提案する会

今後起こりうる災害の備えとして、誰一人として取り残されず効率の良い支援が行き届くように、被災者支援制度に関して、これまで全国の支援現場で活動する様々なセクターの実践者と現状・課題・今後についてディスカッションを行う。

■登壇者：畠山順子（NPO法人あきたパートナーシップ理事長）、齋藤由里子（公益財団法人　味の素ファンデーション（TAF）　事務局長）、菅野拓（大阪公立大学大学院文学研究科准教授）、阿部知幸（ＮＰＯ法人フードバンク岩手　副理事長）、葛巻徹（ＮＰＯ法人いわて連携復興センター代表理事）

S-31 18(月) 12:30 ～ 14:00　自治体向け、一般向け

災害時の『思い出の品』フォーラム

一般社団法人三陸アーカイブ減災センター、全国写真洗浄ボランティア有志

災害・事故発生時に被災者等にとって大切な家族の宝物である「思い出の品」が持ち主に返却する活動が世界各国で実施されているが、日本の多くの被災地では災害廃棄物にまぎれ捨てられており、返却等がなされた自治体はごく一部の地域に限定されている。本フォーラムでは、国内の災害時における「思い出の品」の現状、先進事例等に焦点をあて、災害時に流出した「思い出の品」が希望する人に返却される社会の実現について考察します。

■登壇者：田中 純一（北陸学院大学 社会部 社会学科 教授（専門：災害社会学、災害復興論））、松岡 武司（倉敷市社会福祉協議会　地域福祉課主幹・地域福祉係長）、福井 圭一（真備町洗浄@あらいぐま岡山 顧問、課外のあらいぐま 代表）、秋山 真理（一般社団法人 三陸アーカイブ減災センター 代表理事 ／ 思い出の品研究家）

S-33 17(日) 14:30 ～ 16:00　企業向け、一般向け

マンションで在宅避難に備えよう

一般社団法人マンション防災協会（MALCA）

内容：マンション等の共同住宅における「災害時のリスクと防災力強化の必要性」や「在宅避難のための備え」について
パネリスト（予定）：鍵屋一（跡見学園女子大学教授）、安部俊一（MALCA副理事長）、日本セイフティー（災害用トイレ）など

■登壇者：鍵屋一（跡見学園女子大学観光コミュニティ学部教授）、安部俊一（危機管理コンサルタント･防災士）、外山ゆう子（日本セイフティー株式会社 ラップポン事業部）

S-34　17日 16:30 ～ 18:00　自治体向け、一般向け

地区防災計画フォーラム「関東大震災 100 年の教訓を踏まえた地区防災計画づくり」

内閣府（防災担当）

地区防災計画は、災害対策基本法に規定された住民や企業等が主体となって自発的に作成するコミュニティの防災計画です。本フォーラムでは、関東大震災の被災地である東京、神奈川をはじめとする各地の地区防災計画づくりの事例を踏まえて、有識者が議論を行います。登壇者は、鍵屋一跡見学園女子大学教授、稲田修一早稲田大学教授、加藤孝明東京大学教授、阪本真由美兵庫県立大学教授及び内閣府担当官です。

■登壇者：鍵屋　一（跡見学園女子大学教授）、稲田　修一（早稲田大学 研究戦略センター 教授）、加藤　孝明（東京大学生産技術研究所教授／東京大学社会科学研究所特任教授）、阪本　真由美（兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科教授）、西澤　雅道（内閣府）

S-35　18月 10:30 ～ 12:00　一般向け、学生向け

防災教育交流会 学校・地域連携を高める防災教育 ～コミュニティスクールを基盤とした展開

防災教育チャレンジプラン実行委員会

学校と地域の協力によるコミュニティ・スクール（CS）の導入が全国で進んでいます。しかし、教育委員会が開催時間や回数を規定するなど、熟議不足による形骸化が懸念されています。持続可能な学校運営のためには熟議を重視し、特に防災教育を柱として位置づけることで、CSの成功に寄与することが期待されます。CSと防災教育について、双方の専門家らが意見を交え、過去の「防災教育」の好事例を元にその在り方を考えます。

■登壇者：佐藤 公治（博士（環境人間学）／南三陸町立歌津中学校 主幹教諭）、佐藤 健（東北大学災害科学国際研究所 防災教育実践学分野 教授）、竹原 和泉（特定非営利活動法人まちと学校のみらい 代表理事）、鷲山 龍太郎（元横浜市立小学校長 「防災塾・だるま」塾長）、村山 猛（千葉県立香取特別支援学校 校長）、木下 史子（文部科学省 総合教育政策局 男女共同参画共生社会学習・安全課 安全教育調査官）

S-36　18月 12:30 ～ 14:00　自治体向け、一般向け

災害時におけるマンションのトイレ対策

特定非営利活動法人日本トイレ研究所

災害時において、建物が安全であれば可能な限り在宅での避難が求められます。マンションにおいて生活を継続するためにはトイレ対策が不可欠です。各戸でのトイレの備えの徹底と共に住民同士の協力が必要であり、マンション同士や避難所との連携も重要になります。そこで、地域におけるマンション防災をトイレから考えることを目的として、マンション居住者、自主防災組織、行政職員等を対象にセッションを開催します。

■登壇者：加藤　篤（特定非営利活動法人日本トイレ研究所 代表理事）、加藤　孝明 氏（東京大学生産技術研究所 教授／同社会科学研究所 特任教授）、市川ゆかり 氏（マンション居住者、防災トイレアドバイザー）

S2-2 教育学部 7 号館 101

S-37　17日 12:30 ～ 14:00　一般向け、学生向け

100 年後の共感へ：あなたが憧れる伝承のかたち

災害伝承セッション連絡協議会

関東大震災・阪神淡路大震災・東日本大震災の災害伝承にたずさわる団体が、それぞれの経験をことばにしながら、災害伝承にとって本当に大事なことを共にかんがえます。今回の神奈川大会は、昨年の兵庫大会のメンバーに、関東大震災の伝承活動にも取り組んでいる地域団体を加え、あらためて時代と地域を越えてゆくための伝承活動についてことばを重ねたいとおもいます。

■登壇者：阿部任（公益社団法人3.11メモリアルネットワーク　語り部）、星野和子（小田原史談会）、藤原祐弥（1.17希望の架け橋　代表）、佐藤杏香（あすパユース震災語り部隊）、梅田大地（あすパユース震災語り部隊）、高原耕平（人と防災未来センター　主任研究員）

S-38　17日 14:30 ～ 16:00　企業向け、一般向け

どんなリスクも乗り越えもっと豊かになる100 年を目指す レジリエントライフという生活様式

レジリエントライフプロジェクト

生活者にとって、価値ある防災、そしてレジリエンスとは何なのか？自然災害リスクだけではなく、社会災害リスクや健康リスクなど、あらゆる困難に立ち向かい、回復し、その教訓を得て次なるリスクを予防することで豊かな毎日を目指す生活様式「レジリエントライフ」をテーマに、関東大震災から100年を契機に、今後の展望についてパネルディスカッションを行います。

■登壇者：小林　誠（Ｉ-レジリエンス株式会社　代表取締役社長）、林　春男（京都大学　名誉教授／トレジリエンス株式会社　顧問）、田端　憲太郎（国立研究開発法人防災科学技術研究所　上席研究員）、井関　律（株式会社博報堂　執行役員）、高津　尚子（日本製紙クレシア株式会社 取締役　マーケティング総合企画本部長）、川谷　篤史（東京海上日動火災保険株式会社　dX推進部ビジネスデザイン室　マネージャー）、西　達矢（株式会社マイナビ　取締役　常務執行役員）、関根　秀真（株式会社三菱総合研究所　参与　レジリエンス担当本部長）、吉田　啓一（株式会社博報堂　マーケットデザインコンサルタント）

S-39　17日 16:30 ～ 18:00　企業向け、自治体向け

関東大震災 100 年を迎え 未来の防災を官民連携で取り組む

公益社団法人日本青年会議所　国家グループ　強くしなやかな国土創造委員会

公益社団法人日本青年会議所の運動を有識者、市町村首長を交えトークセッションを行います。

①防災インフラ整備を官民連携して進める

【内容】国が進める国土強靱化計画が進んでいる中、人口減少による税収減は避けられない課題であります。その中で、より大きなダメージを受けるのは地方自治体です。近年の豪雨災害でも大きな災害が出ているのは過疎地域に集中しています。当委員会では、企業版ふるさと納税を活用した地域防災インフラ整備促進を運動として展開してまいりました。その成果を発表し未来の防災インフラ整備の在り方をディスカッション形式で行います。

②BCP策定を推進し、中小企業が地域を守る未来を創造する

【内容】内閣官房が認証するレジリエンス認証は、有事の際に地域貢献を行う項目が定められています。日本企業の99.7%を占める中小企業が、この認証を取ることで地方のレジリエンス力は向上します。しかしながら、中小企業は資金力、人員が少ないのが現状です。そこで全国の中小企業に対しBCP策定をする上でのインセンティブ調査アンケートを実施しました。その成果を発表し国に対し提言をします。

■登壇者：福和伸夫（名古屋大学名誉教授）、村川泰支（内閣官房国土強靱化室　参事官）、河野　幸治（(公社)日本青年会議所 国家グループ 強くしなやかな国土創造委員会 委員長）

S-40　18月 10:30 ～ 12:00　企業向け、一般向け

関東大震災 100 周年 ～大正の食から読み解く歴史的大転換～

一般社団法人　日本災害食学会

関東大震災被災時の記録文献は多いが、当時の市民の食生活の難儀と復旧過程については断片的な記録しか残っていないのが実態である。
来たるべき首都圏大震災における食の復興に備える当学会として、関東大震災被災時の食の復興から何某かの教訓と知見を引き出し、来たるべく次の大震災に備えておくことは、必須の責務であると考えている。
当時の断片的な資料を集め、大正時代の食生活を部分的に再現するとともに、当時の食調達の仕組みを類推し、その被災によって市民の多くはいかなる方法の食の再調達を強いられるに至ったか、その概要を再現実験と推理で報告する。
日本災害食学会が「大正の食から読み解く歴史的大転換」と題して、関東大震災を契機として、日本の食文化が劇的に変化し、現在の近代的和食文化が全国に開花するに至った経緯を掘り下げる。

■登壇者：守茂昭（日本災害食学会副会長）、守真弓（日本災害食学会理事）、青山貴洋（日本災害食学会専門員）、森下園子（日本災害食学会専門員）、阿部進（日本災害食学会専門員）、今泉マユ子（日本災害食学会専門員）、飯田和子（日本災害食学会専門員）

S-41　18月 12:30 ～ 14:00　専門向け（学術界）、自治体向け

災害対策法制の過去・現在・未来の姿を語る ～関東大震災百年、人間の復興を実現するために

災害復興法理論研究会

国家公務員、地方公務員、専門士業、各種研究分野のバックグラウンドをもつ災害法制分野の専門家が集い、災害対策法制の過去、現在、未来について語ります。関東大震災から現在に至るまでの防災の取組について「法制度」や「人間の復興」（生活再建）の側面から議論し、その実態に迫る取組は、これまであまりクローズアップされてきませんでした。「ぼうさいこくたい」を通じて皆様と議論を深めたいと考えています。

■登壇者：山崎栄一（関西大学社会安全学部教授）、金子由芳（神戸大学社会システムイノベーションセンター教授）、永井幸寿（日本弁護士連合会 緊急時法制PT座長・弁護士）、岡田博史（関西学院大学法学部教授）、板垣勝彦（横浜国立大学大学院国際社会科学研究院教授・博士（法学））、千葉実（岩手県職員・博士（法学）・上智大学及び関東学院大学非常勤講師）、飯考行（専修大学法学部教授・博士（法学））、岡本正（弁護士・博士（法学）・気象予報士・岩手大学地域防災研究センター客員教授）

S3-1 教育学部 6 号館 201

S-42 17日 12:30 ～ 14:00　自治体向け、学生向け

富士山と酒匂川

足柄の歴史再発見クラブ

神奈川県西部の足柄地方は富士山噴火、酒匂川氾濫、関東大震災など大きな災害に襲われました。その度に地域の人びとは力を合わせ乗り越えてきました。この歴史を掘りおこして明らかにし、地元の方々に知っていただこうと情報発信につとめています。そのため、学校や地域におじゃまして出前授業や市民講座をおこなっています。ぼうさいこくたいには、私たちのコンセプトを広く知っていただきたく、参加させていただきました。

S-43 17日 14:30 ～ 16:00　自治体向け、一般向け

過去から学ぶ、これから求められる密集市街地整備と全国の自然災害への備え

独立行政法人都市再生機構

関東大震災や戦災の結果、環状に形成された東京の密集市街地では首都直下地震が起きた際には甚大な被害が想定されています。その改善のため昭和50年代から開始した東京における密集市街地整備の変遷を紹介するとともに、密集市街地におけるこれからの防災まちづくりについて、学識者・行政職員・民間事業者がパネルディスカッションを行うことで、首都直下地震や全国の自然災害への備えにもつながるキーワードを発信します。

■登壇者：大沢　昌玄（日本大学理工学部土木工学科　教授）、井上　加奈子（東京都都市整備局 市街地整備部 防災都市づくり課　統括課長代理（防災計画担当））、関　真弓（NPO法人都市住宅とまちづくり研究会　副理事長・事務局長）、大野　新五（独立行政法人都市再生機構 東日本都市再生本部 密集市街地整備部 密集市街地整備第１課　課長）

S-44 17日 16:30 ～ 18:00　自治体向け、一般向け

「関東大震災から学び新たな災害対応ツール First Mission Box の有効性を考える」

一般社団法人 危機管理教育研究所

関東大震災の被害について横浜都市発展記念館 吉田様のご講演後、今後起きる大地震における被害イメージを共有し、災害時の初動行動および運営マネジメントにおけるFirst Mission Boxの有用性について討論します。
1.初動対応の重要性について　2.その解決の一つとしてのFMBの可能性について

■登壇者：【基調講演】吉田 律人（横浜都市発展記念館主任調査研究員）、【パネルディスカッション：モデレーター】国崎 信江（危機管理アドバイザー）、【パネルディスカッション】室崎 益輝（減災環境デザイン室顧問、神戸大学名誉教授、兵庫県立大学特任教授）、成田 真美（淑徳大学 学長室 地域共生センター）、澤野 由佳（三菱地所レジデンス 経営企画部サステナビリティ推進グループ）、後藤 武志（飯田市 危機管理部 危機管理課長）

S-45 18月 10:30 ～ 12:00　一般向け、学生向け

次の関東地震、南海地震に備える抗震力

ＮＰＯ法人 都市防災研究会

地震に関係する専門家の多くは「地震に備えろ」とは発言しますが、多くの場合、その内容は具体性に欠けます。大地震で「生き延びる」ための対策は多岐にわたるので、そのすべてを含めた対策が「抗震力」です。
前半は神沼克伊顧問が「抗震力」について基調講演を行い、後半はパネリストによる基本的な質問及び意見を基に、議論を行います。
予約はありません。フリー（自由席）です。

■登壇者：神沼 克伊（国立極地研究所並びに総合研究大学院大学名誉教授 固体地球物理学が専門、ＮＰＯ法人都市防災研究会顧問）

S-46 18月 12:30 ～ 14:00　自治体向け、一般向け

これだけはやっておきたい～マンション管理組合に必要な「大規模震災への対応と進め方」～

マンション地震対応支援協会

「マンション防災」に特化した防災対策やマニュアルは十分とは言えません。そこで、熊本地震を経験した熊本県管理組合連合会は元福岡大学の古賀一八教授の監修のもと、被災直後の災害対策本部の対応からマンションの復旧までの一連の工程を分かりやすく図示したアクションカード・地震対応箱「MEAS」を開発しました。本セミナーでは、マンションの被災状況から、管理組合の対応、建物の復旧方法までを分かりやすくご紹介します。

■登壇者：堀邦夫（熊本県マンション管理組合連合会　会長）、古賀一八（国立研究開発法人建築研究所客員研究員）、濱田晴子（一般社団法人しずおか住環境防災サポートセンター　代表理事）、久保井千勢（みなと防災女子会　代表）、稲田雅嘉（熊本県マンション管理組合連合会　副会長）、奥田建蔵（あんぜんマンションプロジェクト　発起人）

S3-6 中央図書館 メディアホール

S-47 18月 10:30 ～ 12:00　一般向け、学生向け

「防災小説」で描く首都直下地震の姿

慶應義塾大学大木聖子研究室

夏の暑さが残る9月20日、朝の中央線。車内は人で溢れ息苦しい。中野を通り過ぎた。新宿で降りるから、もう少し…そう考えていた時だ。突き上げるような衝撃が車内を大きく揺らし、電車は緊急停車。私は必死につり革を握り、今起こっている「何か」に耐え続けた。――これは、自らが被災する物語を描くことで災害を自分ごとにする「防災小説」の一節です。本出展は、首都直下地震を綴った防災小説を様々な立場から発表します。

■登壇者：大木聖子（慶應義塾大学環境情報学部准教授）

S1-2 教育文化ホール 101

S-48 18月 14:30 ～ 15:30　一般向け

クロージングセッション

内閣府防災担当

①クロージングセレモニー
　・ぼうさいこくたい2023振り返り(大会ダイジェスト動画)
　・「未来へ向かって(ぼうさいこくたいの感想・今後の防災への想い)」
②主催者等挨拶
　秋本敏文　防災推進国民会議副議長・日本消防協会会長
　荏本孝久　ぼうさいこくたい2023現地情報共有・連携会議・神奈川大学名誉教授
　佐々木修　防災推進協議会運営委員会委員長・日本損害保険協会業務企画部長
　蒲島郁夫　熊本県知事
　内閣府副大臣

オンライン配信

So-1 17日 12:30 ～ 14:00　専門向け（学術界）、一般向け

災害と先端技術　新災害共助スタイル - そこに AI はありますか -

一般社団法人 DroneAI 技術研究機構

「より多くの命をいかに守るか」それが私たちの挑戦です。特にお年寄りやお子様、フィジカルチャレンジをされている方への「助ける技術、生き延びる技術の最先端」について
1.防災意識の日常化、防災技術の日常化
2.防災技術の紹介　助ける技術、生き延びる技術
3.新災害共助スタイル　QR技術.すれ違い通信など
4.まとめ

■登壇者：澤田真希子（エフジェイメディア(司会、モデル)）、田口　政行（研究者）、藤重　裕（理事長、研究者(学者)）

S セッション P12
Os オリジナルセッション P18
W ワークショップ P20
P プレゼンテーション P22
O 屋外展示 P26
IG イグナイトステージ P27
PS ポスターセッション P29

So-2　17日 14:30 ～ 16:00　自治体向け、一般向け

地域の防災力向上に向けた衛星データの活用事例と地球観測の最新動向の紹介

一般社団法人日本リモートセンシング学会

多くの自治体が策定している防災計画では「地域防災力の向上」が挙げられており、地域住民の意識向上が求められています。そこで、地域住民の防災意識および知識の向上を念頭に、広域かつ精緻な情報を取得することが可能となった衛星データに着眼し、事前準備や災害時における活用事例について紹介します。

■登壇者：桑原 祐史（茨城大学　教授）、今井 友桂子（朝日航洋株式会社）、石内 鉄平（宮城大学　准教授）

So-4　18月 10:30 ～ 12:00　自治体向け、一般向け

「地域防災 × 生成 AI」の未来像 ～地域防災の取組がさらに進化し、継続できる可能性を探る ～

広島県

本セッションでは、今話題の生成AIが、地域防災の場面でどのように活用できるのか、また、地域防災力を高めるとともに、持続可能な取組に発展させられるのか、を探ります。まず、２つの地域防災の実践事例を紹介するとともに、そこにどう生成AIを活用できるのか、AIの可能性と課題について、広島大学防災・減災研究センターの先生方や、大手IT企業であるソフトバンク㈱の生成AI活用担当者様も交えて議論し、未来に繋がる持続可能な地域防災を目指します。

■登壇者：海堀　正博（広島大学防災・減災研究センター長・特任教授）、河原　能久（広島大学名誉教授。広島大学防災・減災研究センター学術顧問。）、三好　一（府中町災害記録史作成実行委員会委員）、牧野　美三夫（八本松住民自治協議会副会長兼防災部会長）、増原　伸（ソフトバンク㈱　CSR本部 地域CSR統括部　参与）、藤原 達也（ソフトバンク㈱　AI戦略室　Axross事業課　課長、沖村　俊介（広島県危機管理監みんなで減災推進課主査）、山田　吏加（広島県危機管理監みんなで減災推進課主任）、磯邊　美智世（広島県危機管理監消防保安課参事）

So-6　17日 12:30 ～ 14:00　専門向け（学術界）、一般向け

関東大震災発災から 100 年 ～未来に活かされるべき教訓～

公益社団法人日本医師会

本年は関東大震災の発災から100 年になるが、改めて過去の災害から教訓を学び、今後起きる地震災害にどのように備えていくかを考える。
特に防災、減災の観点から、現在の都市部に人口が集中したまちづくりやハード面のリスク、平時から各自がどのような備えをするべきか、また、実際に災害が発生した際に、避難所で起こりうる健康問題やその対策、避難者が自ら気を付けることなどについて、講演とディスカッションをしていただく。

■登壇者：福和　伸夫（名古屋大学名誉教授／あいちなごや強靭化共創センター長）、石井　美恵子（日本災害医学会理事／国際医療福祉大学大学院教授）、大木　聖子（慶應義塾大学環境情報学部 准教授）、久保田　毅（公益社団法人神奈川県医師会　理事）、松本　吉郎（公益社団法人日本医師会　会長）、茂松　茂人（公益社団法人日本医師会　副会長）、細川　秀一（公益社団法人日本医師会　常任理事）

N4-2 経済学部 1 号館　100A

Os-2　18月 10:30 ～ 14:00　自治体向け、一般向け

全国防災関係人口ミートアップ@ぼうさいこくたい 2023

全国防災関係人口ミートアップ

○全国の5,600人の公務員が集うオンライン市役所のうち、兵庫県立大学特任教授の室崎先生にいただいた「防災は全公務員のリテラシー」を旨に活動する有志のコミュニティが発信するコンテンツ「全国防災関係人口ミートアップ」。

○「立場や地域を超えた顔の見える関係づくり」をミッションに、「フラット」「シームレス」「イコールパートナーシップ」「双方向」の学びの場を一般公開し、公務員のみならず、地域リーダーや有識者、民間企業等、多様な方々との「関わり」と「つながり」をもって地域防災に寄与する「全国の防災関係人口」のプラットフォームとして、毎週月曜日の20時から「100人規模の公開ミーティングを124回実施（令和５年7月末現在）」してきた。

○この人気のオンラインコンテンツ「全国防災関係人口ミートアップ」を、ぼうさいこくたい2023会場でリアルに実現。2022の会場では、立見や会場には入れなかった人多数の大人気コンテンツで、当日、来場した方全員で、フィッシュボウル形式のディスカッションを行う。

So-3　17日 16:30 ～ 18:00　一般向け

防災科学からみた関東大震災の回顧と展望

（一社）防災学術連携体＋日本学術会議

関東大震災を防災科学の視点から振り返り、この震災による社会への影響や社会環境の変化を考察しつつ、今後の防災に関する展望を議論する。本年7月に開催した防災学術連携シンポジウムでの多様な学協会からの知見を整理しつつ、地震・地震動、都市計画、災害医療、情報・社会の４つの観点で、一般の皆様方に防災の理解を深めていただく機会としたい。各分野の専門家5名をパネリストに迎え分かりやすくお話しいただく予定。

■登壇者：森本章倫（日本都市計画学会会長、防災学術連携体代表幹事、早稲田大学教授）、目黒公郎（日本学術会議連携会員、防災学術連携体副代表幹事、東京大学教授　大学院情報学環総合防災情報研究センター長）、牧　紀男（京都大学防災研究所・教授）、大友康裕（国立病院機構　災害医療センター 病院長）、山本佳世子（電気通信大学大学院情報理工学研究科教授、日本学術会議連携会員、防災学術連携体幹事）、米田雅子（日本学術会議会員・防災減災学術連携委員長、防災学術連携体代表幹事、東京工業大学特任教授）、永野正行（日本学術会議連携会員、防災学術連携体幹事、東京理科大学創域理工学部建築学科・教授）

So-5　18月 12:30 ～ 14:00　自治体向け、一般向け

関東大震災から 100 年 フード・ダイバーシティから考える防災と備蓄

尾西食品株式会社

防災への取組には、宗教、文化、ヴィーガン、アレルギー等に対応する様々な環境整備が求められています。災害時における食の多様性の現状と課題を知るセミナーと、防災と備蓄について食の面から考えるパネルディスカッションを開催。誰ひとり取り残さないフード・ダイバーシティという考え方を、ひとりひとりの自助・共助に役立ててもらうセッションをオンデマンドで配信します。

■登壇者：大木 聖子（慶應義塾大学環境情報学部 准教授）、野中 葉（慶應義塾大学総合政策学部 准教授）、クレイシ・ハールーン（日本イスラーム文化センター　事務局長）、ジギャン・クマル・タパ（公益財団法人かながわ国際交流財団/ネパール政府公式通訳者）、岩田 絵弥嘩（ヴィーガンフードアナリスト）

N4-3 経済学部 2号館　111

Os-1　17日・18月終日　一般向け、子供向け

NHK民放6局 防災プロジェクト #いのちともに守る

ＮＨＫ民放６局 防災プロジェクト

NHK/ 民放キー局の６局が協力して、「６局キャラクターが結集する子供向け防災教室」「６局アナウンサー出演のシンポジウム」「番組上映や製作者の講演」を展開します。これらの様子は、NHK「明日をまもるナビ」や民放各社のニュース・情報番組やプラットフォームでも放送・配信予定です。

N3-4 経営学部 1 号館　エントランスホール

Os-3　17日・18月終日　子供向け

あの日奏でるピアノ「ローラちゃん」

あの日奏でるピアノ「ローラちゃん」

あの日、家ごと津波に流され傷だらけになりながらも奇跡的に戻って来たピアノローラちゃん。家と共に解体処分されるところを、ある歌手の提案で横浜のピアノ工房が半年をかけて困難な修復を繰り返し、『音色』が蘇りました。傷だらけで鍵盤は欠けたままだけど蘇ったローラちゃんの姿を見て「あの時何が起きたのか」、音色を聞いて「心に何が巡るか」、鍵盤に触れてみて「何を感じ想うか」を体験していただけると幸いです。両日、心を奏でる素敵なピアニストによる演奏もお届けいたします。『誰にでも起こりうるあの日』を考えるきっかけとなりますように。

S1-5 大学会館　201

Os-4　17日・18月終日　一般向け、子供向け

GENSAI めいろ～災害時あなたは逃げ切れるか ?! ～

三和商事株式会社

「GENSAI迷路」は、災害時に火災の煙から身を守るための低い姿勢を取りながら進み、分かれ道で出現する「防災・減災クイズ」に答えながらゴールを目指す体験型のアトラクションです。途中、暗闇の中を進むエリアがあったり、子ども達（大人も可能）は楽しみながら挑戦！防災・減災の知識に触れながら体験することができます。

S2-2 教育学部7号館 103

Os-5 18(月) 10:30 ～ 12:00　一般向け

ダイバーシティが織りなす「防災の未来予想図」

特定非営利活動法人日本防災士会 ダイバーシティ防災推進委員会

「ダイバーシティ」という耳慣れない言葉。その実すでに各地で展開され、成果・課題を体感している当委員会での活動内容を紹介。
話題提供の基調講演、実践者からは経験談、これから取組む人からは悩みを共有。
当委員会がすでに連携・協力している障害者やマイノリティ団体等などに観覧者として参加依頼し、その場で発言いただきます。『小さな声、声なき声を拾うためのヒントを見つける』ハイブリット参加型セッションです。

■登壇者：室崎 益輝（特定非営利活動法人日本防災士会 理事長）、大澤 さゆり（特定非営利活動法人日本防災士会 副理事長）、平山 優子（特定非営利活動法人日本防災士会 会員）

Os-6 18(月) 12:30 ～ 14:00　自治体向け、一般向け

ペットと同行避難ー　今　自分にできること

BOW・WAN ボランティア

今まで起きてきた大きな災害に人間の看護師として、動物取扱業として避難所、被災動物受け入れ施設で活動してきた代表自身が体験、経験してきたことをもとに、「どうして行ったらうまく同行避難ができるのか？」「どうして行ったら避難所運営がうまくいくのか？」をパワーポイントを使用して、お伝えし、参加者とともに考えていく場を持ちたいと考えている。ペット用持ち出し災害物品、人間とペットとともに使用できる医療品などを展示し、今までの講演会の中で発言された質疑応答、一時避難所での問題点などを発表する。「ペット同行避難」に関して、ペット飼育者、飼育していない方のそれぞれの意見を発表する。

■登壇者：渡辺　智子（正看護師　動物取扱業（訓練、保管）上級愛玩動物飼養管理士　ペット共生住宅管理士）

S3-1 教育学部 6 号館 101

Os-7 17(日)・18(月)終日　専門向け（学術界）、一般向け

神奈川の関東大震災から 100 年の教訓を未来につなぐ

主催団体：オリジナルセッション神奈川 Os-7 実行委員会
協力団体：「かながわ人と智をつなぐ防災・減災ネットワーク」、「防災塾・だるま」、「神奈川地学会」、「ひらつか防災まちづくりの会」，「(一社) 神奈 川県建築士会」、「(公社）日本建築士会連合会」、「神奈川大学建築学部災害リスクマネジメント 研究室」、「防災 & 情報研究所」、「神奈川大学建築学部建築学科 落合努」

＜セッションの部＞101
第Ⅰ部　神奈川の関東大震災　発生メカニズム及び被害と減災行動
第Ⅱ部　もし、関東大震災が再来したら
第Ⅲ部　過去の災害教訓を今、未来に語り継ぐ
第Ⅳ部　神奈川で展開する地域防災活動・地域支援活動
第Ⅴ部 激甚化する風水害による被災体験から流域の対策を考える
＜展示・実演＞　101 / ホール
神奈川岩石　耐震構造物、液状化実験、救命ボックス、微動計等
パンフレット、マニュアル等

S3-1 教育学部 6 号館 102

Os-8 17(日) 終日　学生向け、子供向け

シネマ de 防災～アニメを振り返り未来を語ろう～

U-Inspire JAPAN

災害を題材としたアニメ映画をはじめとするエンタメを一緒に見ましょう。
次世代を担う子ども・若者世代が関東大震災などの過去に起きた災害やその伝え方について考え、これからの防災について若者同士で考えます。
参加者同士で感想を言い合うなど気軽に様々な人が入れる場をつくり、ゆるやかなつながりを作ります。

Os-9 18(月)終日　学生向け、子供向け

ぼうさいこくたい子ども会議 2023

特定非営利活動法人ユナイテッドかながわ

社会の未来を担う子ども達。
小学校高学年の子ども達が自分の街の地域防災について調べて、ディスカッションを行い、その結果をプレゼンいたします。
また、プレゼン発表の後は、参加する子ども達が一斉に集い、「ぼうさいこくたい全国子どもサミット2023」を開催いたします。
この取り組みによって、大人には気づきにくい子ども達の視点ならではの意見の抽出、また斬新な災害対策案を引き出すことを目指し、大人たちにとっても新たな気づきやアイデアを得ることと、改めて防災について多角的に考える機会の創出を図ります。

S3-6 中央図書館 メディアホール

Os-10 17(日) 12:30 ～ 16:00　一般向け、学生向け

BGM スクエア in ぼうさいこくたい 2023

BGM スクエア実行委員会

防災の裾野を広げるため、日頃防災に馴染みのない若者などにも伝えやすいカルチャー（音楽、ダンス等）を通じた啓発イベントを実施する。
実施にあたっては開催地のアーティストを公募し、地元の若者に対してぼうさいこくたいの周知を図る。
対象は横浜国立大学などの学生、地元周辺の若者をはじめ、日頃防災に馴染みのない子育て世代や子どもを含む広く一般の来場者を想定。

出演者の取りまとめや呼びかけは、神戸発・防災音楽ユニットで、ぼうさいこくたい2022広報宣伝大使を務めた「Bloom Works」が中心となり、大学生主体の実行委員とともに進める。

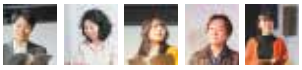
Os-11 17(日) 16:30 ～ 18:00　一般向け

東日本大震災から学ぶ／朗読劇「語り継ぐ南三陸～あの日・その前・その後～」

ごきげん一家

ごきげん一家が、年代も性別も様々な宮城県南三陸町民の震災体験と復興の歩みをヒアリングし、朗読劇の形で表現するプロジェクト。私たちが暮らす日本で起きたことを伝えたい。という想いで上演を続けています。そして、「心の“ぼうさい”とは何か」ということを、南三陸の方々の生きる姿から、共に学び感じることができればと思っています。

■登壇者：目谷哲朗（ごきげん一家　代表）、浅川芳恵、橘千裕、鈴木紀進、竹中杏菜
■劇中音楽：藤田岳、本間めぐみ
■オープニング収録：丸の内合唱団（指揮：高野秀峰）
■スタッフ：ラリコ、石原大彦、山口菜々美



屋外展示場

Os-12 17(日)・18(月)終日　自治体向け、一般向け

防災ウォーク備

一般社団法人 日本ウオーキング協会

「防災ウォーク備」は大学キャンパス内約600mのウォーキングコースに「転倒防止ウォーク」、「狭い道を歩くバランスウォーク」、逃げる力をつける「20mを10秒で歩く、速歩に挑戦」等のミッションを体験していただきます。
3ヵ所に「防災クイズステーション」を設置してクイズを解いていただきます。
完全制覇すると素敵な参加賞をプレゼントさせていただきます。
自治体や企業様から「防災ウォーク備」のプログラム実施のご要望をいただいております。当日は、ご相談コーナーを設けておりますのでお立ち寄りください。

S1-2 教育文化ホール B101

W-1　17日 12:30 ～ 14:00　専門向け（学術界）、一般向け

関東大震災から 100 年～住宅と防災～」

一般社団法人　防災住宅研究所

関東大震災の教訓から、その後、日本は、災害とどのように向き合い、住宅の耐火性や耐震性を強めてきたのか？
日本の住宅の進化と、今後求められる持続可能な災害に強い家づくりについて議論を深める。

W-2　17日 14:30 ～ 16:00　一般向け

げんさいカフェ in ぼうさいこくたい 2023 KANAGAWA「若者に防災減災を届ける方法を考える」

名古屋大学　減災連携研究センター

防災・減災だけをテーマに140回以上開催実績がある国内唯一のサイエンス・カフェです。いつもは名古屋大学減災館で開いていますがぼうさいこくたいの会場でスペシャル版を開催。テーマは「若者に防災・減災を届ける方法」。ゲストは湘南と陸前高田の２拠点生活をしながら"Happyに防災を伝える"を実践中の防災士まこびさんです。伝える秘訣、伝わる秘訣は何なのでしょうか。オンライン参加可能ですが関東近辺の皆さんはぜひ会場参加を！

W-3　17日 16:30 ～ 18:00　一般向け

取材映像で知る「大地震が起きたら私たちはどうなる？」首都直下地震に備える教育現場での実践法

朝日放送グループホールディングス

朝日放送グループは阪神淡路大震災の取材映像40時間分を、「激震の記録1995　取材映像アーカイブ」https://www.asahi.co.jp/hanshin_awaji-1995/として公開しました。避難所の厳しい現実や、食糧、トイレの実態など、都市直下型地震でどんなことが起こるかを、リアリティをもって学ぶことができる生きた教材です。関東大震災から100年が経過し、首都直下地震の発生が危惧される中、この動画を使った防災教育実践例を紹介し、自治体・学校・コミュニティなどですぐにご活用いただけるよう、ワークショップで共有します。

W-4　18月 10:30 ～ 12:00　一般向け、学生向け

巨大地震から学ぶ～想定される影響と対策そして伝承する大切さ～

BOUSAI ゼミな～る実行委員会

4年目となるBOUSAIゼミな～るは、全国から集まる高校9校の生徒が主体となり、毎月定例会を開催中。各校の防災活動の取り組みや、関東大震災について調べたことを共有しながら、近い将来起こるであろう大規模災害を想定し、今、何を準備しておかないといけないかを議論。各地域の違いを理解し、各高校が調べた内容を自分事化することで、被災地と未災地をつなぎ、災害の経験を受け継ぎ、命をどう守るかを考える。

W-5　18月 12:30 ～ 14:00　自治体向け、一般向け

集まれ！防災女性職員とその応援団 第３弾 みんなで語ろう！『女性の視点からの防災』

内閣府男女共同参画局

地方公共団体や地域組織、女性防災士、女性防災リーダー等、防災に携わる方々を広く対象にし、女性の視点からの防災について、疑問や不安、もやもやを共有したり、全国各地で防災活動をしている方がた同士がつながるための場を提供する。過去2回はオンラインで実施し、今年は初めてリアル（対面）でワークショップを開催する。

S1-2 教育文化ホール B102

W-6　17日 12:30 ～ 14:00　自治体向け、一般向け

なでしこ SAT チームから恐竜くんと一緒に学ぶ 災害時の救出救護ワークショップ

一般財団法人危機管理教育 & 演習センター

なでしこSATチームから恐竜くんと一緒に学ぶ災害時の救出救護ワークショップ
女性陣のなでしこSAT(危機管理スペシャルアウェアネスチーム)から着ぐるみのティラノザウルスの恐竜くんが学んでいるデモを見ながら、災害時に自分たちでできる救出、救護、搬送方法について体験するワークショップ

W-7　17日 14:30 ～ 16:00　企業向け、自治体向け

わがまちうわじまの防災協働社会へのつながりづくり

特定非営利活動法人 U.grandma Japan

宇和島市から発信する協働、官民連携フェーズフリーモデルの紹介。
イザというときに大切になる食「イザ食」プロジェクト（子ども食堂から始まる行政、社協、その他防災関連団体を巻き込んだ宇和島市の事例発表）自分の周りにはどんなリソースやアセット、ステークホルダー「食ザイ」があるのかを知り「いつも=もしも」に生かす、「食」からつながりが見えるワークショップを開催。

W-8　17日 16:30 ～ 18:00　専門向け（学術界）、一般向け

災害史料を「みんなで注釈」してみよう

京都大学古地震研究会

江戸時代以前の災害史料に時空間情報をリンクする市民参加型プロジェクト『みんなで注釈』（開発中）を体験するワークショップです。安政江戸地震（1855年）の記録史料にPC上で注釈をほどこし、被害の位置や規模を地図上にプロットする作業を体験していただきます。

W-9　18月 10:30 ～ 12:00　一般向け

消防士向け犬猫の心肺蘇生法体験会

一般社団法人日本ペットBLS 防災学会

「ぼうさいこくたい2023」特別企画！消防士向け犬猫の心肺蘇生法講習会！初のオープンコース！！
※消防士向けに講習会を進めますが、一般の飼い主様も参加ＯＫ！！
講習会内容・【考える】消防士は火災現場でペットに手当をするの？・【習う】世界基準の犬猫の心肺蘇生法ガイドラインとは？・【やってみる】特許出願中の専用器材を使用した実習
目的　犬猫の心肺蘇生法の知識と技術を「０→１」にすること

W-10　18月 12:30 ～ 14:00　自治体向け、一般向け

障害のある人と家族が安心できる福祉避難所の実現を目指して

東京都立調布特別支援学校

・障害のある人の感じ方や捉え方を、ペットボトル等の用具で疑似体験してもらう。
・段ボール製の簡易トイレや簡易ベッド、つい立て等を紹介し、実際に組み立ててもらう。
・福祉避難所の鍵等の保管庫を遠隔で開錠できる仕組みを紹介し、試作機を操作してもらう。
・障害のある人と家族が安心できる工夫等を取り入れた『持続的に発展可能な福祉避難所開設マニュアル』を紹介し、手に取ってもらう。

S1-5 大学会館 301A

W-11　17日 12:30 ～ 14:00　自治体向け、一般向け

あれから 13 年スペシャル～これまでの 100 年からこれからの 100 年へ、つなげるみんなの震災体験～

Team Sendai & Sonae ー bu

仙台市職員等の震災体験を基に制作してきた「朗読」や「映像」、体験者本人から話を聴く「本人語り」といったインプット型伝承プログラムにより、イメージ豊かに当時の状況を追体験していただきます。さらに後半は、グループに分かれてアウトプットを。参加者同士の体験も共有し深め合うことで、災害を自分事として考え、さまざまな視点により防災を学べる90分です。（申込状況等により内容変更の場合あり）

W-12　17日 14:30 ～ 16:00　自治体向け、一般向け

クロスロード誕生 20 年　あなたの選択は？ クロスロードで防災を考えよう！

全国クロスロードネットワーク会議

今年で誕生 20 年となるクロスロードのこれまでを振り返りつつ、実際にクロスロードを体験していただき、改めて防災についての気づきや学びの場とすることで、今後必ず発生する自然災害に備える契機にしていただきたいと考えています。開発者の１人、矢守教授のお話（ビデオ）や、神戸・仙台・熊本の連携団体のオリジナルの設問を体験していただくことを予定しています。
なお、できるだけ多くの方々が参加できるよう、オンライン併用のハイブリット方式で行います。

W-13　17日 16:30 ～ 18:00　自治体向け、一般向け

地域に根ざしたハザードマップの作成と防災に役立つ地図の見方

特定非営利活動法人　地図で防災・まちづくりサポート

愛知県で行われている「みずから守るプログラム」で実施した学区・町内界レベルの手作りハザードマップの紹介を行います。住民と一緒に町内を周り、危険箇所や避難経路を確認して地図上にプロット、写真等も含め編集してハザードマップとして完成させる工程を説明します。そのほか古地図と現在の地図を比較しながら、地図からわかる災害の痕跡や危険度などを一緒に確かめ話し合います。みんなでワイワイ地図で楽しく学びましょう。

W-14　18月 10:30 ～ 12:00　一般向け、子供向け

すごろくで遊んで学ぶ！　安政の南海トラフ地震

減災古文書研究会

1854年に発生した安政東海・南海地震では、災害後に被害を伝える数多くのかわら版が発行されました。
その中の1枚、「諸国大地震大津波末代噺」（防災専門図書館蔵）は、すごろく形式で各地の被害を伝える内容となっています。
このかわら版を用いて、過去の災害について遊びながら学ぶワークショップを行います。

W-15　18月 12:30 ～ 14:00　一般向け、学生向け

DIG 地震防災編の原点：新旧地形図の比較から 災害リスクの読み解き方を学ぶ

海ぼうずの会（「ふじのくに DIG セミナー」参加者の会）

避難経路確認のワークショップと誤解されがちなDIGですが、DIG、そして地域防災の本質は「予防」にこそあるのではないでしょうか。このワークショップでは、関東大震災100年も意識した地震防災DIGのポイントを、DIGを考案した小村隆史(常葉大学)がお伝えします。「誰も取り残さない」「避難しなくて済む防災まちづくり」をどう目指し、どう実現するか。ワークショップを通じて、私たちと一緒に考えてみませんか？

S1-5 大学会館 301B

W-16　17日 12:30 ～ 14:00　自治体向け、一般向け

足紋（そくもん）は、個人識別に有効です。「足紋採取会」と「講演会」に参加しましょう！

特定非営利活動法人 全国足紋普及協会

足紋（そくもん）は、足の裏にある皮膚紋様で指紋と同様、終生不変、万人不同で個人を特定する有効な試料です。事前に足紋を１回採取、保管しておけば災害や事故など思わぬ事態に遭遇してもいち早く身元が確実に判明します。今回は、２名の講師による講演を行うほか、足紋採取機材（足裏の紋様をスキャナーするもの）を使用して足紋を採取し、その場で「足紋証明書」を作成してご本人に無償で交付する「足紋採取会」を実施します。

S セッション P12
Os オリジナルセッション P18
W ワークショップ P20
P プレゼンテーション P22
O 屋外展示 P26
IG イグナイトステージ P27
PS ポスターセッション P29

W-17　17日 14:30 ～ 16:00　自治体向け、一般向け

みんなで取り組みたくなるような「災害時個別支援」のスキームを考えよう

特定非営利活動法人ふくおかＮＰＯセンター

国を挙げて「災害時個別支援計画」が推進される向きにありますが、官民それぞれの現場からは個人情報保護や地域住民の参加・協力の難しさといった困難が多く聞かれます。
他方、創意工夫により乗り越えている好事例もみられ、現場のリアルな声も踏まえつつ知見を学び合いましょう。

W-18　17日 16:30 ～ 18:00　専門向け（学術界）、一般向け

夜間に大地震！福祉施設のバーチャルシミュレーション災害想定ゲーム『KIZUKI』高齢者介護施設夜勤汎用バージョンの体験

ＮＰＯ法人高齢者住まいる研究会

福祉施設のBCP策定が義務付けされましたが、策定が進んでいない現状を鑑み、福祉施設に対して、BCP策定を『ゲームを活用して学ぶ』をテーマにして開発した、災害想定ゲーム【KIZUKI】の高齢者介護施設夜勤汎用バージョン体験を行います。福祉施設が防災力を高めるためには、地域や地域の防災関係者の協力と理解が重要です。このゲームは 地域住民と福祉施設を結びつけるツールとして活用できることを参加者にお伝えします。

W-19　18日 10:30 ～ 12:00　一般向け、子供向け

ソナエルベコとゆかいな仲間たちがお届けするソナエに役立つ裏テク教室

結乃社中（ソナエル食堂プロジェクト）

災害を経験したからこそわかる雑学の大切さ。日常生活だけでなく、発災時のサバイバルでも役に立つ裏技テクニックを、実際に災害時にあったエピソードを交えながら、体験いただくワークショップです。青空教室のような、語り部講話のような、子どもから高齢者の方までリラックスしながら、ゲーム形式で楽しく学んでもらえる催しを予定しています。東日本大震災語り部菊池のどかさんとともに、みんなで楽しく防災を学びましょう！

W-20　18日 12:30 ～ 14:00　自治体向け、一般向け

「beak」(防災用組み立て式食器)

奥村印刷株式会社

A4サイズの紙を折り紙のように折るだけで食器となる「beak」を展示し、実際の製品の組み立てを実演、ご来場していただいたお客様にも体験していただければと考えております。
製品を使用した感想など幅広いご意見を頂戴し、今後の改良につなげていければと考えております。

S2-1 都市科学部 104

W-21　17日 12:30 ～ 14:00　一般向け、子供向け

ソーラークッカーを作ろう

日本ソーラークッキング協会（JSCA）

簡単な工作で誰もが手作り出来るパネル型ソーラークッカーを作って使い方を学びます。子供から大人まで5～10名まで受け入れ可能です。災害時、ガスや電気が利用出来ない場合に太陽光さえあればお湯を温めたり、条件が良ければ調理も可能です。工業製品のソーラークッカーの紹介や質疑応答も行います。

W-22　17日 14:30 ～ 16:00　自治体向け、一般向け

これだけは知っておきたい　災害時の子どもの支援「28 の基準」（人道行動における子ども権利の保護の最低基準）

災害時に子どもを守る最低基準（CPMS）推進ネットワーク

災害などの緊急支援の現場で、子どもたちが危険にさらされることなく安心・安全に過ごせるために、支援者はどのような点に気を付ける必要があるのでしょうか。2021年に発行された「人道行動における子どもの保護の最低基準（第2版）」をもとに、子どもを適切に守るために支援関係者が知っておくべき28の基準をレクチャーとグループワークを通して学びます。

W-23　17日 16:30 ～ 18:00　専門向け（学術界）、一般向け

災害看護でまちづくり

（一社）EpiNurse

「看護xデータ・デザイン・デジタル」＝災害看護でまちづくりを紹介します。アプリとツールを用いて多様性（特にジェンダー・障がい・多文化）に配慮した自助防災（セルフケア）の個別計画とそれをもとにスマホの中でタイムラインやGISの上にマッピングし、さらに当事者になり役を演じるロールプレイをおこない、XR技術を用いながら必要なケアを議論することで包摂的な地区防災計画ができるグループワークを行います。

W-24　18日 10:30 ～ 12:00　専門向け（学術界）、一般向け

関東大震災が今起きたら、病院はどうなる？！被災想定を体験しどう備えるかを考える

一般社団法人日本災害医学会

関東大震災では病院が多く被災しました。建物倒壊、火災焼失、停電や断水したことで、病院の入院患者も多く命を落としました。これらの病院被害を事前に予測でき備えられれば防ぎえた災害死は低減します。関東大震災から100年であることから、本ワークショップでは、DMATの病院支援のプロを講師陣に迎え、関東大震災が今再び発災した想定を用いて来たる災害に備えてデータと病院基礎データを用いて病院被害をいかに予測し備えるかをシミュレーションして頂きます。

W-25　18日 12:30 ～ 14:00　企業向け、一般向け

災害時には救急車は来ない！？自分でできる応急手当が命を救う

株式会社ＰＫウエーブ

大災害に遭遇した場合、怪我をしてしまう可能性が高くなります。しかし、災害発生時には、救急車がすぐに駆けつけるとは限りません。そんな危機的な状況で役立つのが応急手当のスキルです。私たちは誰でも応急手当を行うことができます。特に出血に対する処置は命に関わる重要なポイントです。出血は身体的な損傷だけでなく、心理的なショックにもなります。軽度の出血であれば絆創膏で対応できるかもしれません。しかし、大量の出血であれば専用の止血用品が役立ちます。プロフェッショナル向けの機能的な救急包帯、エマージェンシーバンデージを使った効果的な止血法を、応急手当の基礎知識とともにお伝えします。

S2-2 教育学部 7号館 103

W-26　17日 12:30 ～ 14:00　自治体向け、一般向け

協力型ボードゲーム「LIFE」を通して、災害への備えと今出来ることを考えよう！

フダコマ広場

「防災」がテーマの協力型ボードゲームLIFEを体験して、災害前後の対応について考える。
1.現在行っている災害対策について意見交換を行う。
2.「LIFE」を体験する
3.気づきや今後実施したい災害対策について意見交換を行う。

W-27　17日 14:30 ～ 16:00　自治体向け、一般向け

インクルーシブ社会のコミュニケーション防災

ライフデザインラボ

外国人・障がい者の災害をテーマに3つの事例発表を聞き、参加者自身がグループに分かれて情報交換を行います。
「やさしい日本語」認定NPO法人地球学校
「外国語を母語とする人の避難」NPO法人Sharing Caring Culture
「障がい者と災害」NPO法人日本補助犬情報センター　ソナYellラボ　石川澄江（防災士）
関心が重なった人と話をしやすい「マグネットテーブル」という手法でトークを行います。

W-28　17日 16:30 ～ 18:00　自治体向け、一般向け

今日から活かせる！防災ナッジ実践ワークショップ

よんなな防災会ナッジユニット

行動科学の知見に基づいて人間の自発的な行動変容を促進するアプローチ「ナッジ」を防災行動に応用・実践できるようになるよう、ナッジの手法を身につけ、具体的な防災テーマに応用するワークショップを行います。

S2-2 教育学部 7号館 104

W-29　17日 12:30 ～ 14:00　学生向け、子供向け

身近なもので楽しく防災ワークショップ（工作）

ボーイスカウト

自然のなかでの活動をメインとしているボーイスカウトが「防災」に役立つアイテムを作るワークショップを実施します！ご家庭にある身近なものを使って作ることができる内容ですのでお子さまでもお楽しみいただけます。

W-30　17日 14:30 ～ 16:00　一般向け、子供向け

which? どっち？防災生活ゲーム

横浜市立大学　都市防災計画研究室

横浜市立大学石川ゼミオリジナルボードゲームで、楽しく防災について学びましょう。小学校高学年から大人を対象としています。ボード上のマスには災害への備えや対応に関する事柄が書かれており、コマを進めていく中で楽しく学ぶことができます。ゲーム開始時、参加者は資金を与えられ、災害から自分の身を守るためにどう使うかを考えながらプレイします。ゲームを通して防災について考えるきっかけを提供したいです。

W-31　17日 16:30 ～ 18:00　一般向け

外国人支援のための防災ワークショップ

公益財団法人　かながわ国際交流財団

私たちの身近に暮らす外国人住民の中には防災の知識や災害発生時の対応について全く知らない人がいます。他方、被災地支援や復興のための活動に積極的に参加している人もいます。神奈川県内の通訳・翻訳支援の取り組みや外国人住民の実際の声の紹介、参加型のワークを通じ、多様な言語や文化的背景をもつ人々が地域の一員としてどのように安心して生活していけるかについて考えます。

W-32　18日 10:30 ～ 12:00　自治体向け、一般向け

災害時における授乳アセスメント（聞き取り）を体験しよう

母と子の育児支援ネットワーク

内閣府男女共同参画局「災害対応力を強化する女性の視点～男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン～」(2020年)の中の「授乳アセスメントシート」を参加者がグループワークで体験的に使います。避難所等で授乳中の母子に接する可能性のある誰もがこのシートを使うことで、母乳を飲ませている女性が安心して継続でき、乳児用ミルクが必要な人には安全に使うための支援ができるようになることを目指します。

W-33　18(月) 12:30 ～ 14:00　自治体向け、一般向け

「もし今、大地震が起こったら…」
自主防災会の会長が取るべき行動をシミュレーション

QQ 防災クラブ

自主防災会の会長・リーダーの視点で地震発生直後の行動を検討します。阪神淡路大震災の事例分析から、平時に備えるべき資機材や運用を理解していただきます。・自主防災会という組織の特殊性・発災直後、自主防災会は機能するのか・正しい防災訓練とは（間違いだらけの安否確認）・自主防災会会長の責務・日頃の自治会活動は防災訓練の一環　今までの防災啓発本に書かれていない「目からウロコ！のノウハウ」をお伝えします。

W-35　17(日) 14:30 ～ 16:00　一般向け、学生向け

オリジナル防災ゲーム体験会

若者防災協議会

私たちのワークショップでは対面・オンラインどちらでも楽しめる若者防災協議会オリジナルの防災ゲーム体験会を行います!! 災害発生前から避難時までを通して起こりうる究極の2択に答え、選択・協議するＲＰＧゲーム『VERGE』と、問題文やヒントから発想を得て楽しく災害の発生原因を探る『水平思考クイズ＋ぼうさい』の２つが体験できます！防災関係者から学生さんや一般の方まで幅広い層を対象に楽しんで頂けます!!ぜひお越し下さい！

W-37　18(月) 10:30 ～ 12:00　一般向け、子供向け

きみはなにいろ?
防災・減災スタンプラリー de 自己評価

東北大学災害科学国際研究所　地震津波リスク評価（東京海上日動）寄附研究部門

災害には備えが大事。ですが、いつ起こるか分からないからこそ、実際に災害が起こったときの行動を決めておくことは難しいですよね。私たちのワークショップでは、①子供から大人までスッとわかる「防災授業」、②災害時の自分の行動を想定してみる「防災・減災スタンプラリー」、さらに、③湧き出た質問をその場で聞いてみる「津波はかせへなんでもQ&A」を通し、災害時の考え・行動を自分のものにするお手伝いをします。

N4-2 経済学部 1 号館 102

W-39　17(日) 12:30 ～ 14:00　専門向け（学術界）、自治体向け

防災カードゲーム「ここは災対本部」

自治体防災啓発グループ

防災部局以外の自治体職員や、新たに防災部局に配属した職員に対して、災害対応業務を理解させることは大変簡単なことではありません。このような課題を解決するために、ゲームを通して「災害対応業務の内容」「防災対応を行うために必要なリソース」「目標管理型の防災対応」などについて理解を深められるようなカードゲームを開発しました。

W-41　17(日) 16:30 ～ 18:00　一般向け、子供向け

「ひなんくんれんゲーム」ワークショップ

NPO 防災教育研究センター赤鼻塾

避難訓練の改善を目的に、ギミック（仕掛け）を取り入れた楽しくもリアルな疑似避難訓練の実技です。ギミックは、窓ガラスが割れて破片があったり、目の前にケガ人がいたり、自分自身がケガ人になってしまう。そんなときに余震が何度も発生します！
自分の命と、大切な人をあなた自身で守るために「助けられる人から、助ける人へ」。

W-43　18(月) 12:30 ～ 14:00　学生向け、子供向け

私たちのまちを知ろう「鳥の眼・虫の眼」地震による津波災害

株式会社明石スクールユニフォームカンパニー

大地震による津波災害に的を絞ったワークショップです。3部構成となっており、①鳥の眼（ドローン撮影）でまちの特徴を、虫の眼（まち歩き）でまちの危険ポイントを確認し、②映像とシミュレーションを見ながら津波の教訓とメカニズムを学習します。難場所・避難経路を自分事として考え、最後に③アニメーションを用いた10問のクイズにチャレンジしていただきます。災害への備え、助け合いの大切さを家族・友達と学んでいただく参加体験型となっています。

W-45　17(日) 14:30 ～ 16:00　自治体向け、一般向け

避難用具の現状と課題と福祉用具として避難用具の必要性

一般社団法人　全国福祉用具人材育成協会　福祉避難用具普及部会

現在の消防法での避難器具は、階段を使用しないで避難できるものです。避難ロープ・避難はしご・滑り台・緩降機・救助袋などがそれにあたります。建物にはその避難器具を設置しなければならない法律のため、老人福祉施設にも避難はしごなどが設備されています。そのような避難器具は健常者にとっては非常に有効な避難手段であっても、高齢者や車いす利用者などの災害弱者にとっての避難器具としては適していない部分があります。その現状と課題を講演後、高齢者の身体的特徴から実際の現場で避難が可能となる、災害弱者に適した避難器具の紹介を実機を持ち込み試乗・操作体験できる場とします。

N4-2 経済学部 1 号館 101

W-34　17(日) 12:30 ～ 14:00　一般向け、子供向け

親子で学ぼう！防災・気象情報のミカタ

株式会社　南気象予報士事務所

テレビやラジオの現場で活躍するお天気キャスターと一緒に学ぶ防災授業です。気象観測の装置を実際に観察し、お天気の実験を実践。国土交通省のハザードマップポータルサイトから、ハザードマップを各自のスマホで見てもらい、気になる場所の大雨や津波のリスクを確認。小学生にお天気キャスター体験もしてもらいます。親子でワークショップで楽しく学び、防災・お天気への興味を深めてもらうことが目的です。

W-36　17(日) 16:30 ～ 18:00　一般向け、子供向け

未来を託す。関東大震災から100年。今、こどもたちと一緒に学ぶ防災のこと。

アールシーソリューション 株式会社

こども雑誌「ちゃぐりん」に掲載予定の関東大震災の特集記事用いて、震災当時を振り返り、近い将来、首都圏で同じような地震が発生したときどうすべきかを伝えます。100年前に比べて、首都圏は大きくなり、高齢化も進んで、町の様子も変わりました。参加したこどもたちと一緒にサバイバルカードを作成しながら、今の町に合った防災を学ぶことで、未来の安全・安心な社会を託す機会とします。

W-38　18(月) 12:30 ～ 14:00　一般向け、子供向け

しぞ～か防災かるた大会 in 横浜（ぼうさいこくたい 2023）

しぞ～か防災かるた委員会

参加登録者に「しぞ～か防災かるた」の作成経緯と活動内容の紹介、「しぞ～か防災かるた大会in横浜（ぼうさいこくたい2023）」で実際に体験してもらい、「しぞ～か防災かるた」のノウハウを伝授し、「地域の良さ」と「その地域の防災の心得」を一緒に学べる新しいタイプの「防災かるた」を全国的に展開し、「防災かるた」の交流会が開催できればと考えております。ただし、会場の都合でかるたの体験は厳しいかもです。

W-40　17(日) 14:30 ～ 16:00　一般向け、学生向け

楽しく学ぶ　いつもしも・まねっこ・ぼうさい　ークロスロード体験会ー

わしん倶楽部

宮城県大崎市立古川南中学校の「地域連携型学校防災体制等構築推進事業」として、3年生はクロスロードを学び、9月17日は生徒・地域の皆様が2022年7月に古川市を襲った豪雨の時体験なさった「困ったこと・悩んだこと・失敗したこと・良かったこと」等を基に作成した設問を参加者の皆様に、お披露目させていただく場とします。設問体験後、多くの気づきを得ていただければ幸いです。

W-42　18(月) 10:30 ～ 12:00　自治体向け、一般向け

こども食堂防災拠点化プロジェクト！
フェイズフリーで地域防災の未来を考えるワークショップ

認定特定非営利活動法人全国こども食堂支援センター・むすびえ

「こども食堂防災拠点化プロジェクト！フェイズフリーで地域防災の未来を考えるワークショップ」と題して、全国7,363箇所まで増加している「こども食堂」での防災の取り組み事例を紹介しつつ、地域活動を行う方々、自治会の方々、行政・社協職員の方々に向けて、普段の活動からの延長で実践できるフェイズフリーな防災の取り組みと地域防災の新しいカタチを考えるワークショップを実施します。

N4-2 経済学部 1 号館 100B

W-44　17(日) 12:30 ～ 14:00　自治体向け、一般向け

命のかたりべ×疑似喪失体験プログラム

命のかたりべ（髙橋匡美）×疑似喪失体験プログラム（関西学院大学金菱清）

疑似喪失体験プログラムは、かたりべ（語り部）×死生学のコラボプログラムです。東日本大震災発生から12年以上が立ち、被災地において現在入ってきた大学生は、その当時小学校１・２年生でした。このように数年経てば直接体験していない人が現実に出てきます。その時、あの時こうしたという体験はなかなか実感も伴わないものになる可能性もあります。そこで、疑似喪失体験プログラムでは、約90分程度の時間を使って、他人事になってしまう災害を「わがごと（自分事）」として、実感を伴ったものにアレンジした防災減災の新しい展開が期待されています。

W-46　17(日) 16:30 ～ 18:00　自治体向け、学生向け

東日本大震災被災地仮設住宅等約 100 カ所以上で好評を得た
『あでやか切り絵』のワークショップ

一般社団法人あでやか切り絵協会

東日本大震災被災地仮設住宅等約100カ所以上で好評を得た『あでやか切り絵』のワークショップ2012年1月、名取市閖上地区仮設住宅を皮切りにボランティアを開始しました。『あでやか切り絵』とは、切り絵風絵柄を台紙に印刷しその内側を型抜きしたモノ、その台紙の裏に折り紙や千代紙・チラシ等を千切って貼るだけで素敵な作品が出来上がるモノです。老若男女どの様な方でも楽しめます。

N4-3 経済学部 2 号館ラウンジ

P-1　一般向け、子供向け

ママからはじめるおやこ防災
～ SNS ×地域×防災企画＋絵本～

防災ママかきつばた

P-2　企業向け、自治体向け

日本人の防災力向上と防災教育プログラム（ジュニア防災検定）、
防災検定のご紹介、防災士フォローアップを含めた各種防災研修

一般財団法人防災教育推進協会

P-3　一般向け、子供向け

防災・減災は子どもの時からスタート・・・自助・命を守ろう！

NPO 法人　防災自助普及委員会

P-4　自治体向け、一般向け

伊勢湾台風カルタをはじめとした災害教訓の伝承・防災啓発

名古屋市防災危機管理局

P-5　自治体向け、一般向け

神奈川県立茅ケ崎支援学校の「防災共生」の取組み
～つながりながら備える　備えながらつながる～

神奈川県立茅ケ崎支援学校

P-6　自治体向け、一般向け

子どもを守るための防災～子育て家庭、子育て支援者、
園などに向けた防災啓発プログラム

NPO 法人コドモト

P-7　企業向け、自治体向け
災害に強い都市の実現に向けた「公民連携型の防災教育プロジェクト」
株式会社リブライト

P-8　自治体向け、子供向け
『防災てらこや』と『みんな森シリーズ』による子ども向け防災教育
株式会社野毛印刷社

P-9　一般向け、子供向け
ぼうさい探検隊について
神奈川県代理業協会　ＣＳＲ委員会

P-10　自治体向け、一般向け
段ボールジオラマ防災授業
一般社団法人 防災ジオラマ推進ネットワーク

P-11　一般向け、子供向け
広がる防災
～子どもから大人へ、学校から地域へ～
NPO 法人かながわ 311 ネットワーク

P-12　一般向け
災害時の被災者支援制度について
～支援カードを用いたロールプレイング～
神奈川県弁護士会

P-13　自治体向け、一般向け
宮城県多賀城高等学校　防災教育の可能性
～未来の防災・減災・伝災の担い手とともに考える防災～
宮城県多賀城高等学校

P-14　一般向け、学生向け
学生と共に取り組む地域防災活動
千葉商科大学

P-15　一般向け、学生向け
イツモ防災　～あなたのイツモが、モシモを変える。～
埼玉県危機管理課

P-16　一般向け、子供向け
乳幼児からのまち保育と防災～カードゲーム
「てくてくまっち®」を体験してみよう～
横浜市神奈川区役所

P-17　自治体向け、一般向け
和歌山県の防災啓発事業
和歌山県

P-18　一般向け、子供向け
四国防災八十八話マップ
四国防災八十八話・普及啓発研究会

P-19　自治体向け、一般向け
学区に根差した防災啓発活動：
中学生による「岡山市富山学区防災すごろく」の例
岡山大学教育学部自然地理学ゼミ

P-20　自治体向け、一般向け
キッズ防災士認定とその活動の紹介
一般社団法人　ひろしま防災減災支援協会

P-20　一般向け、子供向け
防災まちづくり事業と広島市防災士ネットワークの紹介
広島市防災士ネットワーク

P-21　専門向け（学術界）、自治体向け
災害体験 VR ～大切な命を守るための防災教育～
株式会社白獅子

P-22　一般向け、学生向け
地図×防災～そなえる大切さを伝える～
株式会社ゼンリン

P-23　企業向け、自治体向け
いのちを守る防災教育
一般社団法人防災教育普及協会

P-24　自治体向け、一般向け
首都直下地震サバイバル
 # 防災手話ダンス「ソング de BOSAI」# 手ぬぐいから BOSAI
ご近所 de BOSAI

P-25　自治体向け、一般向け
避難所向け防災備蓄品の紹介
株式会社 信防エディックス

S1-5 大学会館 201

P-26　自治体向け、一般向け
ザブトン教授の防災教室
全国共済農業協同組合連合会（ＪＡ共済）

P-28　自治体向け、一般向け
よんなな防災会を通じて全国の素敵な人と繋がりませんか？
よんなな防災会

P-30　自治体向け、一般向け
災害時における情報伝達と収集への新たなる挑戦
～オートコールと AI による災害時双方向情報伝達システムを構築せよ！～
陸前高田市防災局

P-32　専門向け（学術界）、企業向け
防災の "資源" と "ノウハウ" が集まる総合基地！『にいがた防災ステーション』
～新潟発の産学官連携による防災課題の解決へ～
新潟県

P-34　企業向け、自治体向け
産官学民連携による地域減災社会の共創
あいち・なごや強靱化共創センター

S1-5 大学会館 4F ロビー

P-27　自治体向け、一般向け
地域防災・学校防災
ＹＹ防災ネット

P-29　専門向け（学術界）、自治体向け
自治体の困り事、いっしょに考え⧄
自治体研究会

P-31　自治体向け、一般向け
宮城県震災復興パネル展
宮城県　復興・危機管理部　復興支援・伝承課

P-33　自治体向け、一般向け
静岡県の防災対策
静岡県

P-35　自治体向け、一般向け
熊本地震、令和２年７月豪雨からの創造的復興に向け取り組む
熊本の経験と教訓
熊本県

S1-5 大学会館 4F 小講堂フロア

P-36　企業向け、自治体向け
“ムービングハウス” を活用した応急仮設住宅の供給実例や、
自治体との協定締結などについてご紹介いたします！
一般社団法人日本ムービングハウス協会

P-37　企業向け、一般向け
自宅は安全？住まいの耐震化で“在宅避難”に備えよう！
日本木造住宅耐震補強事業者協同組合

P-38　一般向け
災害時における建設業の役割り～地域の担い手として
一般社団法人 日本建設業連合会

P-39　一般向け、子供向け
つくる！なおす！まもる！地域建設産業の取り組み
一般社団法人　全国建設業協会

P-40　自治体向け、一般向け
みんなで考えましょう！「あかり」による防災とりくみ
一般社団法人 日本照明工業会

P-41　自治体向け、一般向け
地域とともに災害から文化財をまもる ～文化財防災センターの取り組み～
独立行政法人国立文化財機構 文化財防災センター

P-42　一般向け、学生向け
歴史文化と災害対策 ～歴史文化資料保全の大学・共同利用機関ネットワーク事業の紹介～
国立歴史民俗博物館

P-43　一般向け、学生向け
公立大学連携による防災・減災・復興への取り組み
公立大学防災研究教育センター連携会議

P-44　自治体向け、一般向け
地域と大学が取り組む 災害時避難の課題解決の取り組み
公立大学法人岩手県立大学

P-45　自治体向け、一般向け
みんなで考える栃木県の防災 ～防災士有資格者の応用教育プログラムと実践～
宇都宮大学地域デザインセンター地域防災部門

P-46　一般向け、学生向け
いわて三陸における防災学習の取組 ～東日本大震災津波からの教訓を次の世代へつなぐ～
三陸振興協議会

P-47　一般向け、子供向け
未来のいのちを守るために
いのちをつなぐ未来館

P-48　専門向け（学術界）、一般向け
「命をつなぐ　未来を拓く」 東日本大震災を伝承する地域主体のネットワーク
公益社団法人 3.11 メモリアルネットワーク

P-49　一般向け
つなぐ教訓、未来への道標。
公益財団法人 福島イノベーション・コースト構想推進機構　東日本大震災・原子力災害伝承館

P-50　一般向け
大地の成り立ちから知る防災のヒント
日本ジオパークネットワーク

P-51　企業向け、自治体向け
AI 防災協議会・会員団体の活動紹介 ～防災 DX 官民共創協議会との協働など
AI 防災協議会

P-52　自治体向け、一般向け
防災科研の取り組み　次の 100 年へむけて
国立研究開発法人　防災科学技術研究所

P-53　専門向け（学術界）, 自治体向け
ICT（情報通信技術）による災害に強い社会の実現に向けて
国立研究開発法人 情報通信研究機構

P-54　専門向け（学術界）、自治体向け
SIP「スマート防災ネットワークの構築」
SIP「スマート防災ネットワークの構築」

P-55　企業向け、自治体向け
ウェザーニューズの目指す City as a service ～安心安全なまちづくりの実現に向けて～
株式会社ウェザーニューズ

P-56　企業向け、自治体向け
民間主体、産官学連携で防災ビジネスを推進！ 日本発の優れた防災技術をご紹介します。
一般社団法人 日本防災プラットフォーム（JBP）

P-57　専門向け（学術界）、一般向け
「Build Back Better（よりよい復興）」に関する経験と教訓の発信
国際復興支援プラットフォーム（IRP）

P-58　自治体向け
災害時の外国人支援　～多言語表示、指さしボード、多言語版マイ・タイムライン検討ツール、外国人支援の取組を紹介！～
一般財団法人　自治体国際化協会（クレア CLAIR）

P-59　自治体向け
罹災証明書交付の迅速化に向けた DX 推進
富士フイルムシステムサービス株式会社

P-60　企業向け、自治体向け
多様な連携による SDG s に寄与する防災備蓄品の有効活用
公益社団法人日本非常食推進機構

P-61　企業向け、一般向け
防災から災害復興までの中小機構の取り組み ～事業継続力強化計画で災害に備えよう～
独立行政法人中小企業基盤整備機構

P-62　自治体向け, 一般向け
全国統一型避難誘導標識の普及・啓発について
特定非営利活動法人都市環境標識協会

P-63　企業向け、自治体向け
災害時に車で困らない社会を目指す「モビリティ・レジリエンス」
一般社団法人日本カーシェアリング協会

P-64　自治体向け、一般向け
第28回「震災対策技術展」横浜会場 のご紹介
「震災対策技術展」事務局 ／ エグジビションテクノロジーズ 株式会社

P-65　自治体向け、一般向け
災害に備える時に知っておきたい乳幼児栄養の国際指針 ～ IFE のインフォグラフィックから学ぶ～
NPO 法人　日本ラクテーション・コンサルタント協会

S2-2 教育学部 7 号館 1F ギャラリー

P-66　自治体向け、一般向け
もしもから、いつもを守る。国土強靱化の取組
内閣官房国土強靱化推進室

P-67　企業向け、自治体向け
災害に備えた多様な団体同士の平時からの関係づくり
災害復興くらし応援・みんなのネットワークかながわ（みんかな）

P-68　一般向け
防災と人権・多様性を考えよう
公益社団法人神奈川県社会福祉士会

P-69　自治体向け、一般向け
マンション防災～自助・共助から地域復興、未来のまちづくりへ～
よこはまマンション防災ネットワーク

P-70　一般向け
横浜市の防災・減災の取組を紹介します！
横浜市危機管理室

P-71　一般向け
空から見る関東大震災
ジオ神奈川

P-72　自治体向け、一般向け
災害ボランティアセンターでの ICT 利用普及
かながわ災害情報連絡会

P-73　一般向け
地震だ！台風だ！ 防災情報の活用で命を守る
横浜地方気象台

P-74　自治体向け、一般向け
神奈川県における取組紹介
神奈川県

P-76　自治体向け、一般向け
過去から未来へつなぐ災害教訓のバトン
国土地理院関東地方測量部

P-78　自治体向け、一般向け
どうする？　南海トラフ地震
防災対策に資する南海トラフ地震調査研究プロジェクト

P-80　企業向け、一般向け
連合災害ボランティアの軌跡～労働組合としてできること～
日本労働組合総連合会（連合）

P-82　自治体向け、一般向け
技術士と日本技術士会の防災支援
公益社団法人　日本技術士会

P-84　自治体向け、一般向け
災害用伝言ダイヤル「171」
株式会社 NTT 東日本　神奈川事業部

P-86　一般向け、学生向け
TKK 3大学連携事業
～学生交流から見えてきた後世に語りつなぎたいコト～
TKK3 大学連携プロジェクト

P-88　企業向け
企業が手をつなぐことで広がる防災・災害支援を知ろう
浜松の企業が手をつなぐ災害支援ネットワーク　はままつ na net

P-90　自治体向け、一般向け
自ら考えて行動するサバイバル教育
一般社団法人７２時間サバイバル教育協会

P-92　自治体向け、一般向け
じぶんのまちを守るために～社会福祉協議会による災害時の活動～
全国社会福祉協議会

P-94　自治体向け、一般向け
アレルギーと防災　自分たちの身を守る為の日頃からの備え
LFA 食物アレルギーと共に生きる会　チーム関東

S3-6 中央図書館 109 カフェ

P-75　一般向け, 学生向け
アメリカの市民はなぜ義援金を送ったのか
～関東大震災、黎明期の国際災害支援～
一般財団法人　世界防災フォーラム

P-77　自治体向け、一般向け
過去の震災の教訓を活かし、南海トラフ地震への備えを強力に進めよう
南海トラフ地震による超広域災害への備えを強力に進める 10 県知事会議

P-79　専門向け（学術界）、一般向け
防災専門図書館の出張ミニ企画展
「関東大震災から 100 年 ～備えよう！首都直下地震」
防災専門図書館（公益社団法人 全国市有物件災害共済会）

P-81　一般向け
いざという時に備えよう～平時からできる防災マニュアル～
生団連（国民生活産業・消費者団体連合会）

P-83　自治体向け、一般向け
防災安全合わせガラスの PR と体感実演
機能ガラス普及推進協議会

S3-6 中央図書館 108 情報ラウンジ

P-85　一般向け、学生向け
地域と大学が取り組むコミュニティ防災人材育成プログラムの紹介
大阪公立大学 都市科学・防災研究センター

P-87　自治体向け、一般向け
名古屋学芸大学生による南相馬市の魅力発見・発信
～南相馬市でのサービスラーニング活動報告～
名古屋学芸大学

P-89　自治体向け、一般向け
よんなな女子部員おすすめ！全国のステキな防災冊子を集めました♪
＜ part 2＞
よんなな防災会女子部

P-91　自治体向け、一般向け
福祉 BCP と福祉避難所
一般社団法人 福祉防災コミュニティ協会

P-93　自治体向け、一般向け
防災 NPO としての協働事例ー福祉・住まい・まちづくりー
NPO 法人 日本防災環境

P-94　企業向け、自治体向け
地域で考える防災～食物アレルギー～
一般社団法人 LFA Japan

オンデマンド配信

Po-1　自治体向け、一般向け
災害時、自力で飲料水を確保し、自分や家族、
地域やコミュニティの人たちの命を守る
KG ホールディングス株式会社

Po-3　自治体向け
迅速な救助支援を可能にする共助システム
「防災ヘルプサービス」についてのご紹介
株式会社パソナ

Po-5　一般向け、子供向け
災害とペット　ペット共助スタイル　- LIFE with Animals LIFEwith PET -
WPP グループ　Japan Pet Press

Po-7　一般向け
誰一人とり残さない！災害時も伝わりやすい「やさしい日本語」を学ぼう！
やさしい日本語ラボひょうご

Po-9　子供向け
AI と楽しく学ぶ　いのちを守る@防災リスク・サーベイゲーム
一般社団法人いのちを守る@プロジェクト JAPAN

Po-2　自治体向け、一般向け
地域を守り、くらしを守る
イオン株式会社

Po-4　自治体向け、一般向け
大正噴火 110 年　火山防災トップシティ　鹿児島市
～大規模噴火に備えた火山防災対策～
鹿児島市

Po-6　自治体向け、一般向け
災害時の子どもの居場所の作り方
～遊びと学びを通した子どものこころのケアのために～
災害時子どもの居場所（CFS）協議会

Po-8　企業向け、自治体向け
～「御用聞き」がつなぐ、学校・地域・家庭の防災教育～
新潟県長岡市における持続可能な防災教育体制の紹介
NPO 法人ふるさと未来創造堂

0-1　一般向け、子供向け
関東地方整備局における災害への取組
国土交通省　関東地方整備局

0-1　一般向け、子供向け
クイズ！　住宅・社会資本分野の耐震基準はどんな風に変わってきた？
国土交通省　国土技術政策総合研究所（国総研）

0-1　一般向け、子供向け
3D 体感シアター　自然災害体験車
国土交通省　関東地方整備局　京浜河川事務所

0-2R　一般向け、子供向け
地震体験車で関東大震災の揺れを体験　親子の防災力アップ ～知って、備える～
相日防災株式会社

0-3R　専門向け（学術界）, 一般向け
モバイルファーマシー展示
公益社団法人　日本薬剤師会

0-5L　一般向け, 子供向け
キッズ防災プロジェクト
一般社団法人四番隊

0-6L　自治体向け、学生向け
楽天モバイル災害への取り組み
楽天モバイル株式会社

0-7L　企業向け、自治体向け
らくらく簡単操作の“電動”運搬車
長岡技術科学大学　地域防災実践研究センター

0-8　一般向け、子供向け
「命をまもる　未来へつなぐ」防災ブース
NHK 横浜放送局

0-10　一般向け、子供向け
福島から発信する防災教育と復興まちづくりの取組み
福島大学地域未来デザインセンター

0-12　一般向け
横浜市資源循環局・環境創造局・水道局
横浜市資源循環局・環境創造局・水道局

0-13R　自治体向け、一般向け
断水でも「生活用水」を作り、避難所の生活環境を良くします
ユーティリティ・ソリューションズ

0-14R　一般向け、子供向け
豪雨・暴風疑似体験へラセオンと 20 世紀日本の地震災害 DVD 上映
一般財団法人日本気象協会

0-15R　企業向け、自治体向け
小・中学生向けデジタル防災学習システム「デジ防災 ®」
凸版印刷株式会社　中四国事業部

0-17L　自治体向け、一般向け
“走る蓄電池”電気自動車を活用した停電対策
日産自動車株式会社・横浜市

0-18L　自治体向け、一般向け
そなえよう！みんなとペットの災害対策 in 横浜
NPO 法人ペット防災サポート協会

0-19　自治体向け、一般向け
Action ！地域防災「市民のつながり力」を強める
特定非営利活動法人 オペレーション・ブレッシング・ジャパン

0-1　自治体向け、一般向け
教訓が、いのちを救う 東日本大震災3．11伝承ロードの取り組み
震災伝承ネットワーク協議会（国土交通省東北地方整備局）

0-1　一般向け、子供向け
どうする！？未来の都市・インフラ整備 ～関東大震災から学ぶ今後の整備～
国土交通省　水管理・国土保全局　防災課

0-2L　一般向け、子供向け
「地震体験」と「防災の昔・今・これから」
平塚市

0-3L　自治体向け、一般向け
眼科医療支援車両「ビジョンバン」
公益社団法人　日本眼科医会

0-4L　一般向け、子供向け
水害時に抜群の機動力！レスキュー エアボート
日本エアボート協会 (Japan Airboat Association)

0-5R　自治体向け、一般向け
老いも若きもみんな一緒に避難
NPO 法人日本防災用品技術研究協会

0-6R　自治体向け、一般向け
KDDI の災害に備えた取り組み
KDDI 株式会社

0-7R　専門向け（学術界）、一般向け
日体大 EDMS（Emergency and Disaster Medical Services）
日本体育大学　保健医療学部　救急医療学科

0-9　一般向け、子供向け
災害7次元ポケット
神奈川県大規模災害対策士業連絡協議会，災害復興まちづくり支援機構（共催）

0-11　一般向け、学生向け
ICT 活用災害ボランティアセンター訓練・参加型 防災・減災クイズ＝一般自由参加
特定非営利活動法人　神奈川災害ボランティアネットワーク

0-13L　自治体向け、一般向け
「新しい防災のカタチを提案」 ～被災地に出向く災害支援車と飲料水を造る非常用浄水器～
株式会社ミヤサカ工業

0-14L　自治体向け、一般向け
災害に強い浄化槽システム
一般社団法人浄化槽システム協会

0-15L　自治体向け、一般向け
プロジェクションマッピングや VR、ペーパークラフトで防災・減災を知る
有限会社アシストコム

0-16 L　自治体向け、一般向け
関東大震災 100 年　未来へつなぐ防災減災の取組み
損害保険ジャパン株式会社／ SOMPO リスクマネジメント株式会社

0-17R　自治体向け、一般向け
まさかの車中泊避難のリスクと対策 ～知っておくとよい知識と備え～
トヨタ自動車株式会社

0-18R　自治体向け、一般向け
ペットの防災対策は大丈夫？
環境省動物愛護管理室

0-20　自治体向け、一般向け
災害医療用テントの中で見る、聞く、ふれる 災害時派遣医療チーム DMAT の活動とその軌跡
エアーストレッチャー株式会社

0-21 自治体向け、一般向け
未来に備えよう！防災アクション宣言！
日本赤十字社

0-22R 自治体向け、一般向け
大地震の教訓を踏まえた「予防・緊急・復旧」の防災対策の紹介
東京ガスネットワーク株式会社

0-24 自治体向け、一般向け
関東大震災から 100 年を迎え、これからの大震災における防災対策 ～自助・共助・公助連携力の向上を目指します～
かながわ・よこはま防災ギャザリング

0-25R 自治体向け、一般向け
災害救援ボランティアセンター運営のDX化の取組み
公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワーク

0-26R 一般向け
消防士キッチンカー
消防士キッチンカー

0-27R 一般向け、子供向け
フェーズで学ぶ防災・減災・復興学 ～ 正しく学び、正しく恐れ、正しく備える ～
関東学院大学 防災・減災・復興学研究所

0-28R 自治体向け、一般向け
バイクと無線で行う災害ボランティア
神奈川レスキューサポート・バイクネットワーク

0-29 学生向け、子供向け
学生のための防災業界地図の作成！
よんなな防災会学生部

0-29 一般向け、学生向け
大東文化大学公認防災サークル「STERA」 私たちのこれまで、これから
大東文化大学公認防災サークル「STERA」

0-30L 一般向け
自然災害伝承碑スタンプラリー 伝 Q
田中手帳株式会社

0-31L 企業向け、自治体向け
“ぼうさいのフジタ”総合建設会社による ハード / ソフト　ぼうさいへの取り組み
株式会社フジタ

0-32 自治体向け、一般向け
災害時でもソーラークッキング～非常食も温めて！～
ソーラーハウスにしかわ

0-32 自治体向け、一般向け
災害時にも役立つ PV（太陽光）発電
NPO 法人 PV-Net 神奈川地域交流会

0-33 自治体向け、一般向け
体験型トイレ減災訓練
一般社団法人　全国簡易トイレ普及協会

0-22L 一般向け
大規模災害における防災対策と復旧活動
東京電力パワーグリッド株式会社神奈川総支社

0-23 自治体向け、一般向け
日本全国災害伝承ミュージアム・インフォメーション
日本災害伝承ミュージアム・ネットワーク

0-25L 自治体向け、一般向け
電気も自助　災害時には電気は途絶えます。 電気を自分の手で貯めよう。『マイ発電所プロジェクト』
特定非営利活動法人ざま災害ボランティアネットワーク

0-26L 一般向け、子供向け
大和市少年消防団
大和市消防本部予防課

0-27L 一般向け
いわて・東日本大震災津波からの復興の歩み
岩手県

0-28L 一般向け、子供向け
流せば洪水、貯めれば資源～市民が取り組む 小規模分散型雨水管理で災害に強いまちをつくる
特定非営利活動法人　雨水市民の会

0-29 学生向け、子供向け
災害時に役に立つライフハック体験
静岡大学学生防災ネットワーク

0-29 一般向け、学生向け
学生による継続した復興支援と大学祭における 福島県産農作物の販売について
兵庫県立大学 学生災害復興支援団体 LAN

0-29 一般向け、子供向け
【超防災】地域を超えて未来へつなぐ新しい防災
防災きずな学園 釜石×神奈川

0-30R 一般向け、子供向け
防災手話ダンスから学ぶ BOSAI
Goonats ぐーなっつ東京

0-31R 自治体向け、一般向け
地震と災害時の建物復旧と保守
一般社団法人 日本曳家協会

0-32 一般向け、子供向け
【次世代レンジ・ソーラークッカー】無限の太陽エネルギーで料理しよう
宇宙キッチン～ソーラークッキングの会～

0-33 自治体向け、一般向け
市民を守る新しい公助のカタチ、 共創で災害時のトイレ問題解決に挑む！
災害派遣トイレネットワーク

0-33 専門向け（学術界）、自治体向け
災害用トイレ（携帯・簡易トイレ・マンホールトイレ）の実物展示 及び 2023 年最新の災害時用トイレ備蓄調査の結果発表。
一般社団法人日本トイレ協会　災害・仮設トイレ研究会

S1-5 大学会館 4F 小講堂（フロア）

IG-1	17日 12:30 ～ 12:45	GPS が不得意な「屋内」「高さ」を測位可能な位置情報サービス「高さ」のリアルタイム判定で防災に貢献	MetCom 株式会社	PS-19
IG-2	17日 12:55 ～ 13:10	めざせ！「逃げ遅れゼロ」防災・ラジオ工作教室	長野 SDGs 地域防災プロジェクト事務局	PS-20
IG-3	17日 13:20 ～ 13:35	「仙台防災枠組」の推進に向けて	仙台市防災環境都市推進室	PS-21
IG-4	17日 13:45 ～ 14:00	株式会社サイエンス構造の取り組みについて	株式会社サイエンス構造	PS-22
IG-5	17日 14:30 ～ 14:45	神戸大学でのマリンハザード研究	神戸大学大学院海事科学研究科 津波マリンハザード研究講座	PS-23
IG-6	17日 14:55 ～ 15:10	知って備えよう！地震と津波	気象庁、東京管区気象台	PS-25

IG-7	17日 15:20 ～ 15:35	地震を研究しつつ、成果を社会やこどもたちとも共有しています	公益社団法人日本地震学会	PS-26
IG-8	17日 15:45 ～ 16:00	アーカイブを防災に生かす —ジャパンサーチとひなぎく—	国立国会図書館	PS-27
IG-9	17日 16:30 ～ 16:45	町内会での機微な個人情報管理と友好交流協定書締結と遠隔一時避難円滑化に向けて	東京都渋谷区笹塚仲町会	PS-28
IG-10	17日 16:55 ～ 17:10	みんなで実践 !! こころといのちを守る縄文式健康法 !! (手話付き)	一般社団法人 80 億 RITA プロジェクト	PS-29
IG-11	17日 17:20 ～ 17:35	災害時でもみんなが「ホッ」と出来る食事をご提案！	ハウス食品グループ本社	PS-30
IG-12	17日 17:45 ～ 18:00	お子さま連れ避難所での困りごと	コンビウィズ株式会社	PS-31
IG-13	18月 10:30 ～ 10:45	災害時にもみんなで温かい食事を ～あったかぽうさいスーププロジェクト～	株式会社 NTT データ経営研究所	PS-32
IG-14	18月 10:55 ～ 11:10	ENJOY BOUSAI ☆全国初＜非常食アレンジレシピコンテスト ～非常食をいつもごはんに～＞	さくらんぼ県の防災やさん にしや (有限会社西谷)	PS-33
IG-15	18月 11:20 ～ 11:35	みんな違う！知って納得、「世帯別防災備蓄術」	BOUSAI LIFE MAP	PS-34
IG-16	18月 11:45 ～ 12:00	学生の防災活動と地域防災の取り組み	関西国際大学防災士サークル（KUISs BOSAI）	PS-35
IG-17	18月 12:30 ～ 12:45	おとなもこどもも たのしくなると（鳴門）→　ぼうさい	なるとにし　てとてとて	PS-36
IG-18	18月 12:55 ～ 13:10	まんがで防災を伝える！　- 防災を身近に、分かりやすく -	いろはな防災	PS-37
IG-19	18月 13:20 ～ 13:35	「ペット防災」って何だろう？ —ペット防災について知ろう・考えよう・つながろう—	人とペットの防災クラブ	PS-38

S2-1 都市科学部 1F ホール

IG-20	17日 12:30 ～ 12:45	そなえプランニング減災 FLAT とは？	そなえプランニング減災 FLAT	
IG-21	17日 12:55 ～ 13:10	「みえ まもりたい（みえ学生防災啓発サポーター）」による活動紹介	三重県防災対策部／三重県・三重大学 みえ防災・減災センター	
IG-22	17日 13:20 ～ 13:35	世界初　逃げ遅れることを想定した早期発見 防災避難着　全身反射ポンチョ	株式会社 スギタ	
IG-24	17日 14:30 ～ 14:45	ブロックメーカーが取り組むフェーズフリーなまちづくり	株式会社ユニソン	
IG-25	17日 14:55 ～ 15:10	ペットの被災対策　～いざという時、あなたは自分のかわいいペットを守ることができますか？～	クラーク株式会社	
IG-26	17日 15:20 ～ 15:35	保存食アレンジ・レシピのご紹介	希望食品株式会社	
IG-27	17日 15:45 ～ 16:00	BOSAI POINT PROJECT	BOSAI POINT PROJECT	
IG-28	17日 16:30 ～ 16:45	自助の強化へ向けて～まるごと防災の取組～	帝人フロンティア（株）	
IG-29	17日 16:55 ～ 17:10	災害支援実績から学ぶ災害時のトイレの重要性	日本セイフティー株式会社　ラップポン事業部	
IG-30	17日 17:20 ～ 17:35	災害用トイレトレーラー	ＪＰホームサプライ株式会社	
IG-31	17日 17:45 ～ 18:00	「災救マップ」や「たすかんねん ®」など IT を活用した防災・減災の取り組みの紹介	一般社団法人地域情報共創センター＋大阪大学	
IG-32	18月 10:30 ～ 10:45	～避難者・救援者の仮眠環境改善へ～ 防災向けカプセルベッドのご紹介	コトブキシーティング株式会社	
IG-33	18月 10:55 ～ 11:10	災害避難シミュレーション ～みんなで考える防災～	株式会社構造計画研究所	
IG-34	18月 11:20 ～ 11:35	「日本の伝統文化から学ぶ」折り工学を用いた防災製品の紹介	株式会社 OUTSENSE	
IG-35	18月 11:45 ～ 12:00	避難所遠隔鍵解錠 BOX（ココ BOX Ⅱ）でスムーズな避難所管理。防災訓練活用で普段から地元自治会連携強化して令和 DX の備え	ビット・パーク株式会社	
IG-36	18月 12:30 ～ 12:45	トレーラーハウス／キャンピングカーを用いた、新しい災害支援の枠組み	一般財団法人トレーラーハウス設置検査機構	
IG-37	18月 12:55 ～ 13:10	平成 27 年９月関東東北豪雨常総水害の教訓を未来世代に語り継ぐ	見てみようよ！常総市の会	
IG-38	18月 13:20 ～ 13:35	異常気象に対応する近未来型地域密着型の内水氾濫対策と防災教育	日本興業株式会社	
IG-39	18月 13:45 ～ 14:00	世界初の津波実水体験博物館を高知県黒潮町と岩手県宮古市田老に！	NPO 法人タクローの会	

S2-2 教育学部 7号館 ギャラリー

IG-40	17日 12:30 ～ 12:45	空飛ぶ火の見やぐら・ドローン １２０分➡３０分で？何のこと！！	一般社団法人　地域防災ドローン・相模原	PS-44
IG-41	17日 12:55 ～ 13:10	東急建設の防災と減災のまちづくり	東急建設株式会社	PS-45
IG-42	17日 13:20 ～ 13:35	地域と共に歩む災害時医療 ～神奈川県医師会の災害対策の取り組み～	公益社団法人 神奈川県医師会	PS-46
IG-43	17日 13:45 ～ 14:00	見えない危険から見える安全へ	シンロイヒ株式会社	PS-47
IG-44	17日 14:30 ～ 14:45	小学校と保育園の避難施設	小学校と保育園を考える会	PS-48
IG-45	17日 14:55 ～ 15:10	宅地の地盤相談を活用ください！	一般社団法人 地盤品質判定士会 神奈川支部	PS-49

IG-46	17日 15:20 ～ 15:35	各種防災技術（地震災害・感染症対策・シェルター）に関する開発状況のご紹介。	オイレス工業株式会社
IG-47	17日 15:45 ～ 16:00	今必要な津波防災対策の多重化	防波システム研究所
IG-48	17日 16:30 ～ 16:45	「自己完結型障がい者用トイレ「福祉バイオトイレカー」のご紹介	優成サービス株式会社
IG-49	17日 16:55 ～ 17:10	いざという時の水確保できていますか？	小型非常用貯水槽協会
IG-51	18月 12:05 ～ 12:20	新構造技術で防災・減災	一般社団法人新構造技術普及協会
IG-52	18月 12:30 ～ 12:45	高橋研究室が取り組んでいる防災研究紹介	東京理科大学 工学部建築学科 高橋研究室
IG-53	18月 12:55 ～ 13:10	防災士がおススメする防災食防災グッズ	B ステーション
IG-54	18月 13:20 ～ 13:35	通電火災を防ぐ！感震ブレーカー	株式会社生方製作所
IG-55	18月 13:45 ～ 14:00	防災ログの活動紹介	株式会社防災ログ

S3-6 中央図書館 ロビー

IG-57	17日 12:55 ～ 13:10	企画製造販売会社から危機管理対策用品のご提案 防災士の意見を取入れた「防災ベスト」のご紹介	株式会社ジェイウィン
IG-58	17日 13:20 ～ 13:35	新発想！手のひらサイズの自立型携帯トイレ＆ノンアルコールのウエットティッシュ（化粧品類）が震災時のお困りごとを解決します	エピスタコーポレーション／（株）プリート
IG-59	17日 13:45 ～ 14:00	自分だけのオリジナル防災 BOX を作る ワークショップの事例発表	株式会社カスタネット
IG-60	17日 14:30 ～ 14:45	東日本大震災、熊本地震でも活躍！ 災害用マンホールトイレのご紹介	株式会社イーストアイ
IG-61	17日 14:55 ～ 15:10	災害時における口腔ケアの重要性について	サンスター株式会社
IG-62	17日 15:20 ～ 15:35	災害時、最も助けとなる情報メディアとは？	特定非営利活動法人 BHN テレコム支援協議会
IG-63	17日 15:45 ～ 16:00	防災・減災見える化ソリューション	株式会社パトライト
IG-64	17日 16:30 ～ 16:45	地域コミュニティ・パワーで災害を乗り越えろ！地区防災計画の実践と課題	一般財団法人 関西情報センター
IG-65	17日 16:55 ～ 17:10	地域独自の雨量計による地域防災力向上活動のご紹介	RainTech 株式会社
IG-66	17日 17:20 ～ 17:35	"過去"の災害から学び、 "今"をどう生きるか一緒に考えよう！	災害アーカイブぎふ
IG-67	17日 17:45 ～ 18:00	大阪防災メソッド	大阪防災企画
IG-68	18月 10:30 ～ 10:45	SDGs 視点の防災備蓄とは？ ～災害対策は「自助」から「共助」へ～	ファシル株式会社
IG-69	18月 10:55 ～ 11:10	防災・BCP の支援 ～ノウハウのオープン化で社会貢献～	株式会社レジリエンスラボ
IG-70	18月 11:20 ～ 11:35	防災 THE PRESS ～インフルエンサーが発信する防災情報～	防災 THE PRESS 制作実行委員会
IG-71	18月 11:45 ～ 12:00	防災の日常化を目指し、防災人員を増やす取り組み	一般社団法人日本防災共育協会
IG-72	18月 12:10 ～ 15:10	位置情報ビッグデータを使って防災を考えてみよう ～被災者を減らすために～	株式会社ナイトレイ

N4-3 経済学部 2 号館 渡り廊下

PS-1	環境省の災害廃棄物対策　環境省　環境再生・資源循環局　災害廃棄物対策室　災害廃棄物処理はスピードが命　横浜市　資源循環局	
PS-2	被災自動車の適正処理	公益財団法人　自動車リサイクル促進センター
PS-3	Resilience Science on Nankai Trough megathrust earthquake	国立大学法人香川大学 四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構

N4-2 経済学部 1 号館 廊下

PS-4	地域情報写真配信サービス『ビューちゃんねる』	株式会社アーベルソフト
PS-5	コネクテッド・パワースーツの防災・災害復旧での活用	GBS 株式会社
PS-6	乳幼児のいる被災者家庭を救う『つながる支援パック』とオリジナル防災教材	認定 NPO 法人はままつ子育てネットワークぴっぴ
PS-7	高所作業における安全確保【ハーネスアンカー】	有限会社鈴文
PS-8	ヤフーの平時、有事における災害対応について	ヤフー株式会社
PS-9	災害食「レスキューフーズ」で備蓄・災害救援を支える	ホリカフーズ株式会社
PS-10	原子力災害被災地域の歴史資料の保全と地域自治体・住民との共有	人間文化研究機構広領域型基幹研究プロジェクト国文学研究資料館ユニット「人口減少地域におけるアーカイブズと歴史文化の再構築」研究チーム
PS-11	防災音楽	札幌国際大学観光学部観光ビジネス学科 河本洋一ゼミ
PS-12	日本地球惑星科学連合の防災に関わる活動	公益社団法人日本地球惑星科学連合
PS-13	非常時における即時出動性と悪路を含めた走破性により、防災に役立つ2輪の移動手段	株式会社コハクジャパン
PS-14	非常時における熱中症予防に移動式エアコン	信越空調株式会社
PS-15	視覚障害者の災害対策	日本ロービジョン学会
PS-16	防災・減災 YUME プロジェクト	東日本セキスイ商事株式会社 防災・減災プロジェクト
PS-17	若者による食を通した東北との関わり～きっかけはすぐそばに～	NPO 法人きっかけ食堂
PS-18	１１７ＫＯＢＥぼうさい委員会	１１７ＫＯＢＥぼうさい委員会

S セッション P12
Os オリジナルセッション P18
W ワークショップ P20
P プレゼンテーション P23
O 屋外展示 P26
IG イグナイトステージ P27
PS ポスターセッション P29

S1-5 大学会館 2F ロビー

PS-19	GPS が不得意な「屋内」「高さ」を測位可能な位置情報サービス「高さ」のリアルタイム判定で防災に貢献	MetCom 株式会社	IG-1
PS-20	めざせ！「逃げ遅れゼロ」防災・ラジオ工作教室	長野 SDGs 地域防災プロジェクト事務局	IG-2
PS-21	「仙台防災枠組」の推進に向けて	仙台市防災環境都市推進室	IG-3
PS-22	株式会社サイエンス構造の取り組みについて	(株)サイエンス構造	IG-4
PS-23	津波による堆積物擾乱後の海底からの栄養塩溶出フラックスの変化	神戸大学大学院海事科学研究科 津波マリンハザード研究講座	IG-5
PS-24	日赤災害救護の活動を後世につなげるためにはじめたこと	日本赤十字看護大学附属災害救護研究所	
PS-25	知って備えよう！地震と津波	気象庁／東京管区気象台	IG-6
PS-26	地震を研究しつつ、成果を社会やこどもたちとも共有しています	公益社団法人日本地震学会	IG-7
PS-27	アーカイブを防災に生かす　―ジャパンサーチとひなぎく―	国立国会図書館	IG-8

S1-5 大学会館 3F ロビー

PS-28	町内会での機微な個人情報管理と友好交流協定書締結と遠隔一時避難円滑化に向けて	東京都渋谷区笹塚仲町会	IG-9
PS-29	今ある命を守るために！こころと命を守る縄文式健康法！！	一般社団法人 80億 RITA プロジェクト	IG-10
PS-30	災害時でもみんなが「ホッ」と出来る食事をご提案！	ハウス食品グループ本社	IG-11
PS-31	赤ちゃんも大人と同じ避難した 1 人です～お子さま連れ避難所での困りごと～	コンビウィズ株式会社	IG-12
PS-32	災害時にもみんなで温かい食事を　～あったかぽうさいスーププロジェクト～	株式会社 NTT データ経営研究所	IG-13
PS-33	ENJOY BOUSAI ☆全国初<非常食アレンジレシピコンテスト～非常食をいつもごはんに～>	さくらんぼ県の防災やさん にしや（有限会社西谷）	IG-14
PS-34	日本一わかりやすい！目からウロコの「世帯別防災備蓄術」	合同会社 BOUSAI LIFE MAP	IG-15
PS-35	学生の防災活動と地域防災の取り組み	関西国際大学防災士サークル（KUISs BOSAI）	IG-16
PS-36	おとなもこどもも たのしくなると（鳴門）→　ぼうさい	なるとにし　てとてとて	IG-17
PS-37	まんがで防災を伝える！　- 防災を身近に、分かりやすく -	いろはな防災	IG-18
PS-38	「ペット防災」って何だろう？―ペット防災について知ろう・考えよう・つながろう―	人とペットの防災クラブ	IG-19
PS-39	第 38 回防災ポスターコンクール入賞作品	内閣府・防災推進協議会	

S2-1 都市科学部 廊下

PS-40	ローリングストックと防災レシピ	生活協同組合ユーコープ	
PS-41	神奈川県看護協会が取り組む災害対策　～防災・減災活動～	公益社団法人　神奈川県看護協会	
PS-42	災害ボランティアの課題　微小災害（2022-5/ 1 横浜市中区打越土砂災害）での行政対応とボランティア活動について	復興ボランティアタスクフォース	
PS-43	アジア地域の防災能力向上のために	一般財団法人 アジア防災センター	

S2-2 教育学部 7 号館 廊下

PS-44	空飛ぶ火の見やぐら　　１２０分➡３０分（？）	一般社団法人　地域防災ドローン・相模原	IG-40
PS-45	東急建設の防災と減災のまちづくり	東急建設株式会社	IG-41
PS-46	地域と共に歩む災害時医療～神奈川県医師会の災害対策の取り組み～	公益社団法人 神奈川県医師会	IG-42
PS-47	見えない危険から見える安全へ	シンロイヒ株式会社	IG-43
PS-48	小学校と保育園の避難施設	小学校と保育園を考える会	IG-44
PS-49	宅地の地盤相談を活用ください！	一般社団法人 地盤品質判定士会 神奈川支部	IG-45
PS-50	かまくら防災士ネットの活動	かまくら防災士ネット	
PS-51	資格発行を通じた防災教育の重要性	一般社団法人　全国自然災害家屋調査協會	
PS-52	大規模地震発生時の横浜市道路局の役割と備え～ 72 時間での道路啓開を目指して～	横浜市道路局道路部維持課	
PS-53	地域と共にある防災教育～「震生湖」生誕から100 年目を迎えて～	神奈川県秦野市教育委員会	
PS-54	神奈川県博物館協会加盟館園連携事業「神奈川震災 100 年プロジェクト」について	神奈川県博物館協会	
PS-55	関東学院の校舎や国宝円覚寺舎利殿を通して読み解く関東大震災	関東学院大学 建築・環境学部建築エンジニアリングコース	
PS-56	THE HERITAGE TIMES YOKOHAMA KANAGAWA	関東大震災 100 年連続コラム	ヘリテイジタイムズ横浜・神奈川
PS-57	こどもといっしょに考えよう	まごころキッチンプロジェクト	

TEAM 防災ジャパン　交流カフェ

TEAM防災ジャパンでは、ぼうさいこくたい2023の開催に合わせて、交流カフェをオープンします。

自治体、福祉、ジェンダー、メディア、災害ボランティア、IT活用など防災の第一線で活躍するTEAM防災ジャパンのメンバーがホスト役となり、出展者からプログラムの見所をお聞きしたり、セッションやワークショップ、展示等の実況中継をしたり、ぼうさいこくたいの裏番組として、多くの方とぼうさいこくたいを楽しみ、つながりの機会を作って盛り上げたいと思っております。

これから防災について学びたい方、専門的な知識をさらに深めたい方、ふらっと立ち寄ったけれどブースが多くてどこに行っていいか分からない方など、どなたでも大歓迎ですので、ぜひ、お気軽にお立ち寄りください。

場所：N4-2 経済学部 1 号館 1 階 103 教室
日時：9 月17 日（日）12:30-18:00
（状況により変更する場合があります）
9 月 18 日（月・祝）9:30-14:20
（状況により変更する場合があります）
※ライブ配信も予定しております。
詳細はTEAM防災ジャパンホームページまで！

TEAM 防災ジャパン

信頼できる防災情報を共有し、人と人、地域と地域、様々な分野をつなげ、盛り上げるポータルサイトです。

防災KOKUDAI★Information

N3-5 経営学部講義棟 1号館

学生企画「防災大学」
(防災の地域課題実習)

9/17 (日) 12:30～
～ 9/18 (祝) 14:00

横国生の防災企画展です!
- 防災MAP の紹介・配布
- 成果物の展示
- 防災人生ゲーム
- ポスター・写真展示、防災模型、映像コンテンツ、ワークショップの実施など

リスク共生社会創造センター／環境情報研究院

9/17 (日) 12:30 ～　9/18 (祝) 14:00

● **「石油コンビナートの災害対応」**に関して、特に地震発生時に被害について開発システムのデモやポスター展示と、「学内全ての樹木の倒木リスクを評価した修士論文」のポスター展示を行っています。

D&I教育研究実践センター／バリアフリー推進部門

お子様の参加を歓迎します!

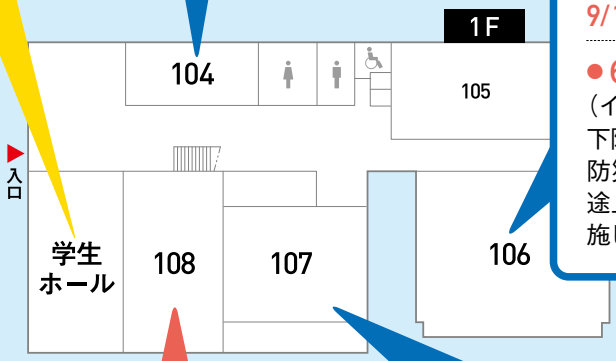
9/17 (日) 12:30 ～

● **映画上映**
- 水消火器の消火体験
- 災害避難体験
- 災害時の障がい者対応のポスター展示を行います。

豊穣な社会研究センター

9/18 (祝) 10:30～

● **6つの研究ユニット**
(インフラ長寿命化、地震・地下防災、水・風・火災害、地域防災、防災の哲学、大都市・途上国) がそれぞれ企画を実施します。



豊穣な社会研究センター

9/17 (日) 12:30 ～

● **自然災害との向合い方**をテーマに、講演、パネルディスカッション、朗読劇などを行います。

高等研究院 YNU Dialogue & サイエンスカフェ

9/18 (祝) 13:00 ～ 14:30

● **デジタル社会における防災**
災害インフォデミック対応など、防災、サイバーセキュリティ、心理学、台風、リスク共生学等多様な研究者が対話を行います。

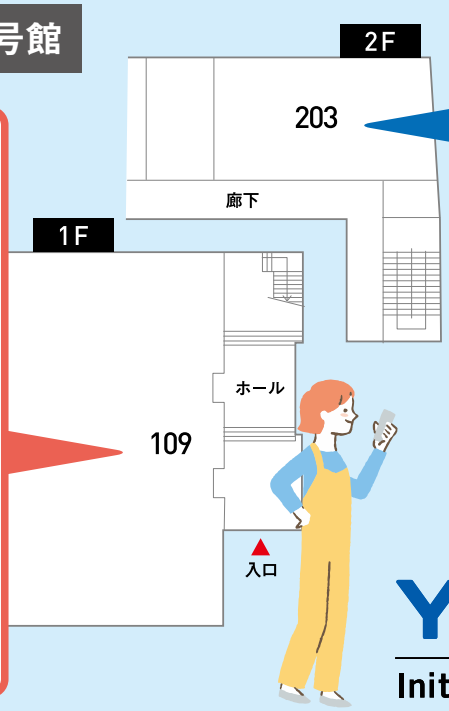
地域連携推進機構／地域実践教育研究センター

事前申込制

9/17 (日) 12:30～　9/18 (祝) 14:00

● **保育・教育施設向け防災教材・絵合わせカード「てくてくまっち ®」**を使いながら、横浜国立大学キャンパスを歩いて、防災に役立つまちのアイテムを探します。

N3-3 経営学部講義棟 2号館



台風科学技術研究センター

9/17 (日) 12:30 ～ 14:00

● **TRC 台風専門学校**は特別編！台風の目の中突入の模様も放映です！

9/17 (日) 14:30 ～ 15:30
9/18 (祝) 13:00 ～ 14:00

● **小・中学生向け「たいふうのおはなし＆ワークショップ」**

● **特別展示**も常時開催中！
TRC コンソーシアム／共同研究／ムーンショット目標８　など

地域連携推進機構／地域実践教育研究センター

9/17 (日) 12:30 ～ 16:00

● **ボードゲーム「みんなのまちづくりゲーム in cities」**を通じて、防災対応や環境対応を意識しながら、地域経済の仕組みを学ぶことができます。

詳細はこちらからもご覧いただけます。

YNU 横浜国立大学
YOKOHAMA National University
Initiative for Global Arts & Sciences

防災KOKUDAI

YNU 横浜国立大学　独自企画

ぼうさいこくたい2023 と同時開催

ぼうさいこくたい 2023 キッチンカーのご案内

出展日	事業者名	メニュー
2023 9/17(日) 9/18(月)	オズズキッチン	チキンケバブサンド、チキンケバブおつまみ、チキンケバブ丼、ロングポテト、チーズハットク、チュロス、トルコアイス
	小坊主。	特製唐揚げ、ロングポテト、かき氷
	makomako	三元豚・豚バラ焼きそば、肉巻きおにぎり、焼トウモロコシ、フランクフルト、かき氷
	ラキア	牛タン丼、ワイルド牛タン串、牛ステーキ串、かき氷各種、チョコバナナ
	野方ホープ	とんこつ醤油ラーメン、トマトラーメン、小籠包
	ヨッチン食堂	炙り牛のホットチリドッグ、炙り牛の照りマヨドッグ、世界一のアップルパイ、横濱ビッグカヌレ、スフォリアテッラ
9/17(日)	どんなもん	スムージー各種、ジェラート各種
9/18(月)	PD ミルキー	牛ステーキ＆ポテトフライ、牛ステーキサンド、肉巻きおにぎり、かき氷各種、ポテトフライ、チーズボール

無料シャトルバス時刻表

横浜駅西口→大学会館前

17日		18日	
9	45	9	45
10	00 15 30 45	10	00 15 30 45
11	00 15 30 45	11	00 15 30 45
12	00 15 30 45	12	00 15 30 45
13	00 15 30 45	13	00 15 30 45
14	00 20 40	14	05
15	10 30 50	15	
16	10	16	

大学会館前→横浜駅西口

17日		18日	
11	30	11	30
12	00 30	12	00 30
13	00 30	13	00 30
14	00 30	14	00 20 35 50
15	00 20 40	15	05 20 35 50
16	00 20 40 50	16	00 10 20 30 40 50
17	05 15 25 35 45 55	17	00 15 30 45
18	05 15 25 35 45 55	18	